

SAMSUNG



DIGITAL VIDEO RECORDER

USER GUIDE SVR-440

Please read the user guide provided carefully before you operate this system

www.samsungcctv.com

デジタルビデオレコーダー

SVR-440 取扱説明書

ご使用前に本取扱説明書を良くお読みください。

はじめに

SVR-440をお買い上げ頂きありがとうございました。

ご使用前に、本取扱説明書及び本取扱説明書に関連する説明を必ずお読みください。

お読みのあとは、大切に保存してください。

本取扱説明書に記述される取扱説明及びソフトウェアとハードウェアは著作権法で保護されています。従って、Samsung Techwin社の了解無しに、コピー権内の範囲の一般コピーを除いて、取扱説明書の一部あるいは全部のコピーはお止めください。

製品保証及び責任の範囲

メーカーは、本製品の販売に関して如何なる責任も負いません。第三者にその利益のために如何なる責任も委譲することはありません。製品の保証は事故、過失、改造、誤用あるいは悪用の事例を含みません。さらに、メーカーから供給されない如何なる付属品あるいは部品に対しても保証しません。

保証は購入日から2年間有効です。但し、下記に記載する場合は、たとえ保障期間内でも保証の対象になりません。下記故障の修理サービスは有償となります。

- ・ 使用者の不注意により発生した故障
- ・ 許可なく装置を分解したり、如何なる部品を交換した場合
- ・ 仕様書に指定した電圧以外の電源を使用した故障
- ・ 自然災害(火災、洪水、地震、津波等)による故障
- ・ 消耗部品 (HDD、ファン等)の交換

Warning (警告マーク)

警告と注意 - 本取扱説明書内のこれらのマークは、各種の重要なレベルを示します。
これらのマークは、危険なレベル及び可能性により分類されています。
購入した装置を使用する前に、十分これらのマークを理解されるように強くお願いします。



Warning

(警告)

Warning(警告)は、装置を適切に取り扱い、あるいは操作しなかった場合、傷害あるいは死亡の重大な危険を発生する原因になることを示します。



Caution

(注意)

Caution(注意)は、装置を適切に取り扱い、あるいは操作しなかった場合、装置の損傷あるいは軽い傷害を発生する原因になることを示します。



Notes

Notes

(注)

Notes(注) 装置を操作する場合に役立つ情報あるいは参照事項を示します。

目次

1章 安全へのご注意	-----	7
2章 概要	-----	9
2.1 特長	-----	9
2.2 構成品名	-----	11
2.3 各部の名称と機能	-----	12
2.3.1 前面パネルの操作パネル	-----	12
2.3.2 背面パネル接続端子	-----	14
2.3.3 リモートコントローラー	-----	15
2.4 装置の仕様	-----	16
3章 設置方法	-----	21
3.1 各部接続方法	-----	21
3.2 接続の詳細	-----	22
3.2.1 カメラ	-----	22
3.2.2 音声	-----	22
3.2.3 モニター	-----	23
3.2.4 外部コネクタ	-----	24
4章 設定方法	-----	28
4.1 メニュー設定	-----	28
4.2 初期設定	-----	31
4.3 メニュー画面設定	-----	34
4.4 画面設定	-----	35
4.4.1 ファン礼設定	-----	36
4.4.2 オートケルス	-----	37
4.4.3 画面表示	-----	37

4.5 録画設定	-----	38
4.5.1 リピート録画	-----	38
4.5.2 録画設定	-----	39
4.5.3 チャンネル 設定	-----	39
4.6 システム設定	-----	40
4.6.1 HDD	-----	41
4.6.2 パスワード	-----	41
4.6.3 時刻設定	-----	42
4.6.4 その他	-----	42
4.7 ネットワーク & シリアル 設定	-----	43
4.7.1 ネットワーク	-----	43
4.7.2 クライアント接続	-----	44
4.7.3 E-メール	-----	44
4.7.4 RS-485/422	-----	45
4.8 イベント設定	-----	46
4.8.1 M/D (モーション検出)	-----	46
4.8.2 センサータイプ	-----	46
4.9 PTZ設定	-----	47
4.9.1 チャンネル毎の設定	-----	47
4.10 メニュー終了	-----	48
4.11 その他	-----	48
4.11.1 ファームウェア更新 (Firmware Upgrade)	-----	48
4.11.2 時刻修正	-----	49
5章 操作	-----	51
5.1 操作開始前の初期チェック	-----	51
5.2 電源接続	-----	51
5.3 ライブ映像画面	-----	53
5.3.1 単画面及び多画面表示	-----	53
5.3.2 オートシーケンス表示	-----	53

5.4 録画	-----	53
5.4.1 通常録画	-----	53
5.4.2 スケジュール録画	-----	53
5.5 録画映像サーチ	-----	53
5.5.1 イベントサーチ	-----	54
5.5.2 時間ラインバー	-----	54
5.5.3 時間サーチ	-----	55
5.5.4 開始時点サーチ	-----	55
5.5.5 終了時点サーチ	-----	55
5.5.6 ログファイル・リスト	-----	55
5.5.7 コピーリスト	-----	56
5.6 録画ファイル再生	-----	55
5.5.7.1 静止画バックアップ	-----	56
5.5.7.2 映像バックアップ	-----	5
7		
5.7 PTZ	-----	58
5.7.1 パン/チルト調整	-----	58
5.7.2 ズーム/フォーカス調整	-----	58
5.7.3 初期化	-----	59
6章 ネットワークビューア プログラム	-----	60
6.1 ネットワークビューア プログラムのインストール	-----	60
6.1.1 PC要求仕様	-----	60
6.1.2 ネットワーク環境	-----	60
6.1.3 プログラムのインストール	-----	60
6.2 ライブ画面の操作	-----	62
6.3 ライブ画面の操作	-----	66
6.4 サーチ画面の操作	-----	73
6.5 その他のサーチボタン	-----	75
6.6 サーチ	-----	76
7章 トラブルシューティング	-----	77

1章 安全上のご注意



Warning

(警告)

設置前に

電源を接続する前に、正しい電源電圧を確認してください。(本機は100V～240Vです)

設置前に電源を接続しないでください。

湿度の高い環境に設置しないでください。電気ショックあるいは火災の原因になります。

電気ショックを避けるために装置を適切に接地してください。

操作中に

装置のカバーを開けないでください。電気衝撃の原因になります。

装置仕様書に規定された温度及び湿度環境内で使用してください。

同一のコンセントに複数の電子機器を接続しないでください。火災の原因になります。

装置の上に重い物体あるいは水その他液体を含む容器を置かないでください。故障の原因になります。

プロパンあるいはガソリンなどの可燃性ガスの近くで使用しないでください。爆発あるいは火災の原因になります。

濡れた手で電源プラグを触らないでください。電気ショックの原因になります。

勝手に内蔵のリチウム電池を他のタイプの電池に置き換えると爆発の原因になります。電池は同じ種類のものを使用してください。使用済みの電池は、環境汚染の原因とならないように所定の手順で処理してください。

冷却ファンの換気穴から電荷を帯びた、あるいはその他の塵埃を入れないでください。

電源コードを強く引っ張らないでください。電気ショックあるいは火災の原因になります。

分解及びクリーニング

装置を許可なく分解、修理あるいは改造しないでください。故障、電気衝撃あるいは人的傷害の原因になります。

装置の表面をクリーニングするとき、水、シンナーあるいは有機溶剤を使用しないでください。故障あるいは電気衝撃の原因になります。装置の表面をクリーニングするには乾燥した柔かい布を使用してください。



Caution (注意)

・設置中に

装置を冷却ファンの換気格子と壁面間あるいは円滑に熱を放散するための表面から最低15cmの空間を設けて設置してください。

装置を平滑な水平面に設置してください。不安定な接地面からの落下は、故障あるいは人的傷害の原因になります。

装置を太陽の直接光あるいは高温を避けて設置してください。装置の故障あるいは歪みの原因になります。

装置の録画中にカメラを設置すると、他のチャンネルの映像を乱します。カメラの設置後、録画を始めてください。

操作中に

装置の作動中に装置に衝撃や振動を加えないでください。

使用中に装置を移動しないでください。

装置に強い力を加えたり、投げないでください。

他メーカーのHDDを付加したい場合は、

SAMSUNG/Western Digital/Maxtor HDD(7200RPM/EIDE Type)の使用を推奨します。他メーカーのHDDを使用すると、異常作動の原因になります。したがって、HDDを設置追加する場合は、販売店にご相談ください。非認可のHDDを使用した場合は、保証条項は適用されません。

2章 概要

本機は、小規模店舗、コンビニエンスストア、銀行、ATM等のセキュリティ機器として使用する目的で設計製作されたデジタルビデオレコーダーです。スタンドアロン装置で、システム性能と安定性を保証しています。SVR-440は、磁気テープでなく、磁気ディスクHDDに映像を録画するため、反復録画でも映像品質を保持し、デジタルファイル形式で映像データを録画及び再生することで容易にデータの検索ができます。さらに、高画質の動画及び大容量記憶メディア機能を持つユーザー適応のデジタル装置で、モーション検出、PTZ(パン/チルト/ズーム)制御、パスワード設定、リアルタイム音声データ記録及びイベントリストとログファイル記録等、多様な機能が**あります**。

2.1 特長

監視画面

SVR-440は、各チャンネル共、高品質ライブ映像で、幅広い監視画面表示を提供します。

- ・ リアルタイム単画面及び分割画面表示モード
- ・ オートシーケンス画面表示
- ・ パン/チルト制御

録画

録画速度は120F/秒で、イベントリスト上にイベントを録画し、同時にプライベート(プリアラーム)録画機能があります。

- ・ 同時実効の3つの機能：録画、再生及びネットワーク
- ・ 各チャンネル、便利な録画解像度設定
- ・ 3種類の画質モード設定
- ・ 簡単なモーション検出設定
- ・ 120F/秒までの録画速度設定(360×240)
- ・ 手動及びスケジュール録画
- ・ 外部アラーム及びモーション検出によるイベント録画
- ・ 外部アラーム及びモーション検出のためのイベントリスト作成
- ・ イベント発生前の映像録画

再生

- ・ 時刻、日及びチャンネルによる再生
- ・ 静止画サーチ
- ・ リモートコントローラーによる便利なサーチ

記録メディア

基本メモリーは、内蔵のHDDで、記録されたHDDからUSBメモリースティックに映像をコピーできます。

- ・ 基本メモリー：内蔵のHDD
- ・ バックアップメディア：USBメモリースティック

USB外付けCD-R

製造メーカー：LITEON社

モデル名：LTB-52327SX

ネットワーク

SVR-440は、LAN及びADSL、DHCP等の幅広いネットワークをサポートします。ユーザーは、専用のPC ビューアを用いて遠隔地から容易に装置の主な機能进行操作し、管理できます。

- ・ 遠隔地からライブ映像を監視できます。(単画面あるいは4分割画面選択可能)
- ・ 遠隔地から時刻あるいはイベントによりサーチ及び再生できます。
- ・ 10/100Mbps Ethernet/xDSLサポート
- ・ DDNSサポート

その他

- ・ USBメモリーを用いて簡単にファームウェア更新
- ・ リアルタイムで4チャンネルまでの音声録音
- ・ VGA出力サポート
- ・ (言語メニュー選択)

2.2 構成品名

SVR-440の梱包は、下記に示すように、SVR本体及びその部品を含みます。装置を購入したとき、下記の品目が含まれているか確認してください。もし、**欠品の場合**、販売店にご連絡ください。



SVR-440本体



1. ネットワークビューアプログラムCD



2. 取扱説明書



3. リモートコントローラー



4. リモートコントローラー用電池



5. 電源アダプター



6. 電源ケーブル

・HDDを内蔵しない場合、下記製品が含まれます。



7. HDD IDEケーブル



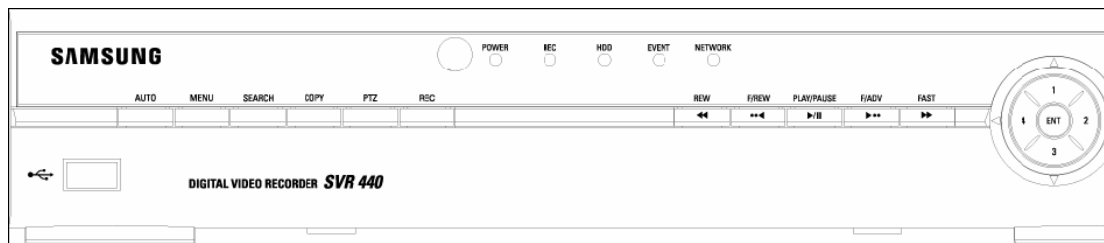
8. HDDプレート



9. HDD用のゴム及びネジ

2.3 各部の名称と機能


2.3.1 前面パネルの操作





LED表示

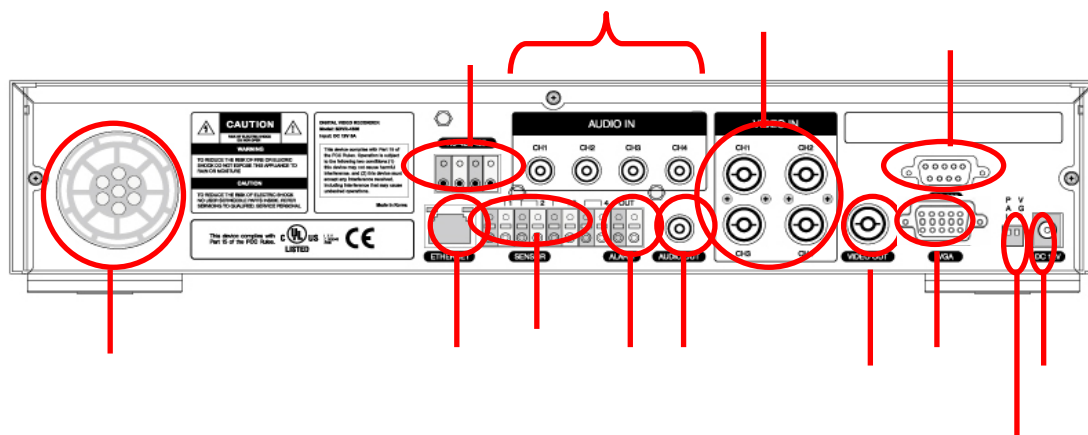
LED名称	機能説明
Power	電源入力時点灯
HDD	HDDにアクセス中点灯
EVENT	アラーム発報時あるいはモーション検出時点灯
NETWORK	システムがネットワークに接続時点灯
REC	映像録画時点灯

操作ボタン

ボタン名称	機能説明
AUTO	オートシーケンス開始及び終了
SEARCH	録画データのサーチ
COPY	静止画バックアップあるいは映像コピー
PTZ	PTZカメラ制御
MENU	設定メニュー表示
REC	録画開始及び停止
PLAY/PAUSE	再生及び再生画面一時停止
◀◀ REW	逆方向再生、速度 1 x、2 x、4 x
◀◀ F/REW	逆方向にジャンプ、再生位置が 1 分逆方向に移動
F/ADV ▶▶	正方向にジャンプ、再生位置が 1 分正方向に移動
FF ▶▶	正方向再生、速度 1 x、2 x、4 x
ESC	前のメニュー画面に戻る
	設定モードでメニュー項目の上に移動し、ライブモードでカメラ 1 を選択。パスワード入力時、No. 1 を入力するために使用できます。

	<p>設定モードでメニュー項目の右に移動し、ライブモードでカメラ2を選択。パスワード入力時、No.2を入力するために使用できます。</p>
	<p>設定モードでメニュー項目の下に移動し、ライブモードでカメラ3を選択。パスワード入力時、No.3を入力するために使用できます。</p>
	<p>設定モードでメニュー項目の左に移動し、ライブモードでカメラ4を選択。パスワード入力時、No.4を入力するために使用できます。</p>
	<p>ライブ監視モードで単画面あるいは4分割画面を選択。希望するメニュー項目を選ぶ、あるいはメニュー内の設定値を記憶します。</p>
<p>USB PORT</p>	<p>USBバックアップ及びファームウェア更新</p>

2.3.2 背面パネル接続端子



VIDEO IN : カメラ入力 (NTSC/PAL)

VIDEO OUT : コンポジットビデオ出力

VGA : PCモニター用のVGA出力

RS-232C

SENSOR : センサー入力

ALARM : アラーム出力

LAN : RJ45コネクター

DC12V : DC12V電源コネクター

AUDIO IN : 音声入力

AUDIO OUT : 音声出力

選択スイッチ

NTSC/PAL、BNC/VGA選択スイッチ

RS-485/422 : PTZカメラ制御用

ファン

2.3.3 リモートコントローラー

	RECORD	録画開始/停止
	PTZ	PTZ 制御ボタン
	SEARCH	サーチボタン
	AUTO	オートシーケンスボタン
	ENTER	メニュー内の変更値を選択及び保存
	MENU	設定メニュー表示
	ESC	前のメニューに戻る
	F/REW	逆方向にジャンプ、1分前の再生位置に移動する。
	PLAY/PAUSE	再生モードで、再生/ポーズ
	F/ADV	正方向にジャンプ、1分先の再生位置に移動する。
	REW	逆方向再生、速度： 1x, 2x, 4x
	COPY	バックアップボタン
	FF	正方向再生、速度： 1x, 2x, 4x
0~9	リモートコントロールID設定(0~9)	

2.4 装置の仕様

システム

項目	仕様
プロセッサ	DSP
オペレーションシステム (O/S)	RTOS
圧縮手法	MPEG-4

映像

項目	仕様
入力映像方式	コンポジット 入力：4 CH
映像入力レベル	1.0 V p-p, コンポジット
ライブ画面表示速度	NTSC: 120 F/秒 (PAL: 100 F/秒)
ライブ画面 デジタルメモリー	NTSC: 720 (H) × 480 (V) 単画面画素数 (PAL: 720 (H) × 576 (V) 単画面画素数) 8bit輝度(明るさ) (256 グレースケール) 24bit カラー (160,000 色)
モニター出力	1.0Vp-p コンポジット, 75
VGA 出力(PC モニター)	RGB 出力(順次走査) * コンポジットあるいはVGA選択

音声

項目	仕様
音声	4CH 音声入力 1CH 音声出力
音声圧縮手法	ADPCM

アラーム

項目	仕様
入力 出力	4 CH 1 リレー出力(モーション検出、アラーム)ユーザー設定

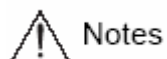
リモートコントロール

項目	仕様
赤外LED	最大5m

録画

項目	仕様
最大録画 フレームレート (F/秒) (解像度)	NTSC(720X480): 30 F/秒 NTSC(360X240): 120 F/秒 (PAL(720X576): 25 F/秒) (PAL(360X288): 100 F/秒)
録画モード プリアラーム録画 画質レベル	3種の録画モード:常時録画、スケジュール、イベント チャンネル ON/OFF 設定 3レベルの画質:ユーザー設定

NTSC方式の国名: USA, Canada, 日本, Korea, Taiwan, Mexico等.



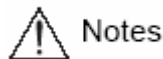
Notes

PAL方式の国名: Australia, Austria, Belgium, China, Denmark,
Finland, Germany, UK, Netherlands, Italy, Kuwait,
Malaysia, New Zealand, Singapore, Sweden, Spain,
Switzerland, Thailand, Norway等。

HDD

項目	仕様
標準装備 HDD タイプ 最大回転数 推奨機種	1 EIDE 7200rpm Western Digital/Samsung Electronics/Maxtor

下記記載の Western Digital/Samsung Electronics/ Maxtor HDD シリーズの
機種を推奨します。



Notes

	Model	HDD Capacity	Buffer
Western Digital	WD1600BB-22GRA0	160GB	2M
	WD2000BB-00GUA0	200GB	8M
	WD2500BB-00KEA0	250GB	8M
Samsung	SP0822N	80GB	2M
	SP1604N	160GB	2M
Maxtor	7Y250P0	250GB	8M
Seagate	ST3400832ACE	400GB	8M
Hitachi	HDS725050KLAT80	500GB	8M

バックアップ

項目	仕様
デジタルバックアップ	USBメモリースティック

サーチ及び再生

項目	仕様
サーチモード	日時・時刻サーチ：年，月，日，時，分 チャンネルサーチ：各チャンネル イベントサーチ：アラーム、モーション検出 最初のデータによるサーチ：HDD開始点の録画映像 最後のデータによるサーチ：HDD最終点の録画映像 ラインによるサーチ：サーチラインバーの使用
ログファイル	電源ON/OFF，録画開始/停止，情報表示
再生速度及び方向	正方向及び逆方向
高速サーチ	正方向(X2, X4)，逆方向 (X2, X4)
ジャンプサーチ	映像の前後 1 分
一時停止及びフレーム再生	再生の一時停止、一時停止状態でフレーム再生

パスワード

項目	仕様
2 種のパスワード	4桁パスワード(4つの数を含む) Adimin：全機能制御(初期設定：1111) Network：ネットワーク動作(初期設定：1111)

ネットワーク

項目	仕様
通常	ライブ画面：監視 再生画面：サーチ メニュー設定：可能(CMS S/W：オフ) アクセス手法：表示Viewer プロトコル：TCP/IP，DHCP インターフェース：Ethernet(10/100Mbps)，ADSL 同時アクセス数：最大 4 ユーザー
PCへの必要仕様	CPU：Pentium IV 1.2GHz or over (2.0GHz or over recommended) メモリー：256MB or over (512MB or over recommended) HDD：最小10GB or over OS：Windows 2000 or over recommended

	モニター: 1,024_768 ピクセル LAN インターフェース: 10/100 Base T (RJ 45)
--	---

電源仕様

項目	仕様
アダプター仕様	入力: AC100-240V, 50/60Hz, 1.5A 出力: DC12V, 5A
消費電力	約 25W

動作周囲環境

項目	仕様
動作周囲温度	+5 °C ~ + 40 °C
保存温度	+10 °C ~ + 60 °C
動作周囲湿度	30%~90%(RH、非結露)

外装

項目	仕様
材質	鋼板筐体
外形寸法	350(W) X 267(D) X 65(H)mm (足含まず)
質量	約 4.5Kg

接続端子

項目	仕様
映像入力	BNC(4)
モニター出力	BNC(1)
VGA 出力(PC モニター)	15-Pin DSUB
音声ジャック	RCA 入力(4), RCA 出力(1)
USB ポート	USB1.1(ファームウェア更新/コピー)
9-Pin DSUB	RS-232C(予備)
6-Pin 端子	RS-422/485(外部制御, PTZ)
8-Pin 端子	アラーム入力(N/C, NO, OFF)
2-Pin 端子	アラーム出力(モーション検出, センサー)
ターミネーションスイッチ (JP2 Termination)	RS-422/485 端子抵抗スイッチ (RS-422/485終端は、 上蓋を開いた後、ジャンパー設定により行います。)
LAN 入力	RJ-45 (ネットワーク)
DC 入力	DC 12V電源入力

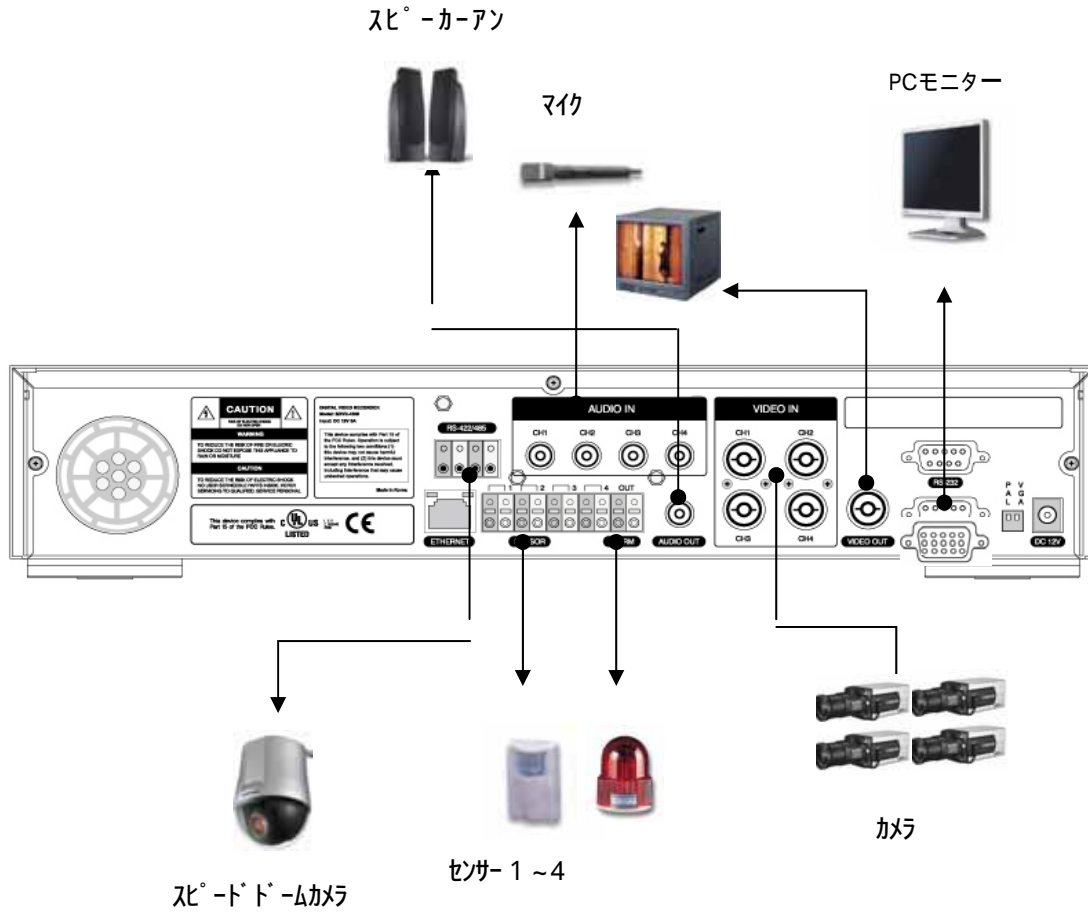
付属品

項 目	仕 様
標準付属品	ネットワークビューアプログラム CD 取扱説明書 リモートコントローラー及び電池 HDDプレート用ゴム及びネジ 電源アダプター、電源ケーブル

3章 設置方法

3.1 各部接続方法

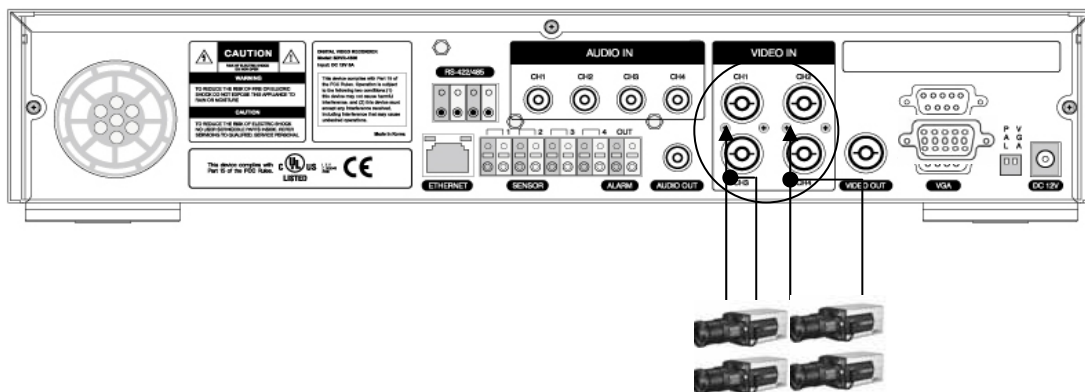
SVR-440へ接続される各機器は下図のように、モニター、CCTVカメラ及び周辺機器です。



3.2 接続の詳細

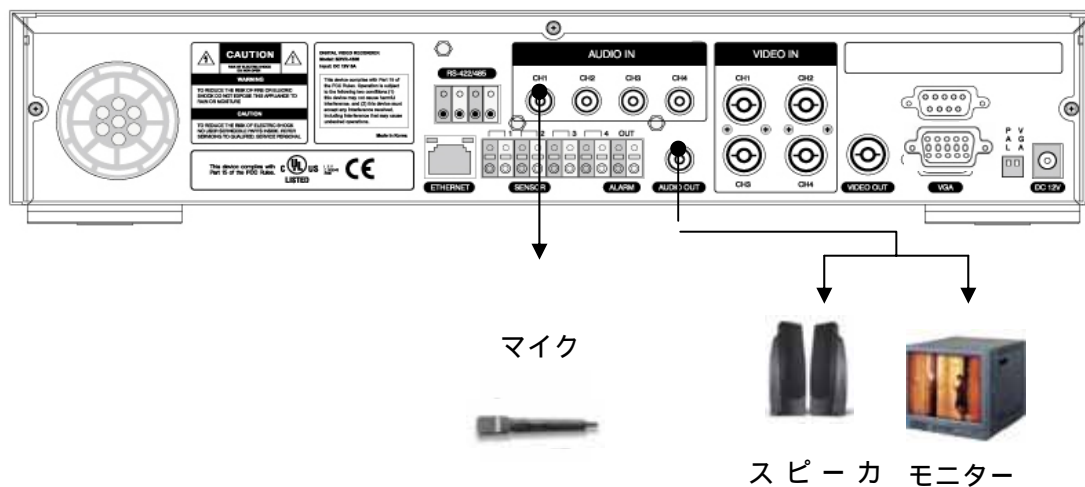
3.2.1 カメラ

SVR-440はカメラ4台まで接続できます。各カメラからのBNCコネクターを背面のVIDEO INコネクターに接続します。



3.2.2 音声

SVR-440は音声を録音できます。音声を録音及び出力するためには、下図に示す機器を接続します。



Notes

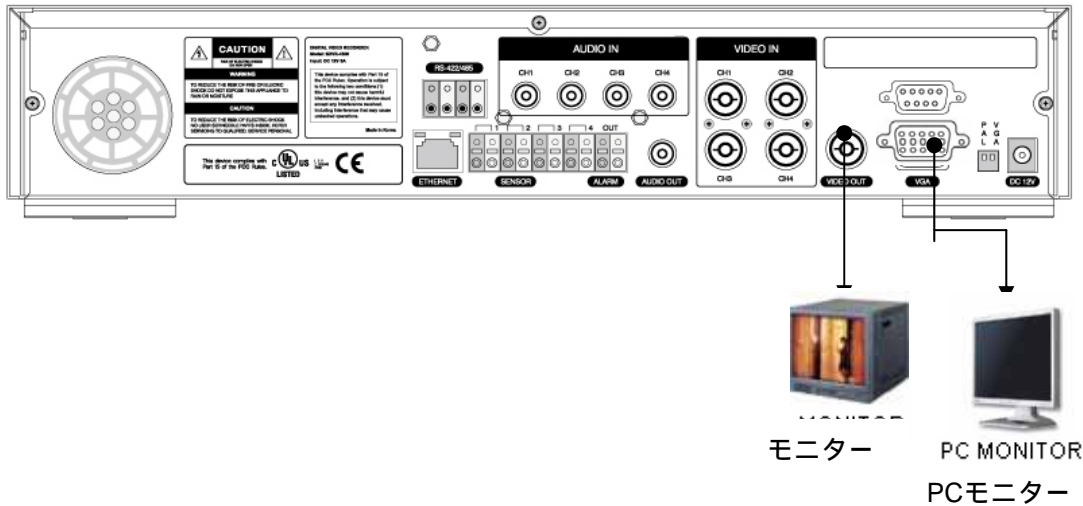
- 音声入力を設定するには、録画設定メニューで[音声]を[ON]に設定します。
- 音声を再生する場合は単画面表示モードにしてください。分割映像表示モードでは、各チャンネルの音声が混合し正常な再生音になりません。

音声出力

スピーカー付きモニター等を背面の音声出力端子に接続します。

3.2.3 モニター

背面のVIDEO OUT コネクターとモニターの映像入力を、下図のように接続します。この他、PCモニター用のVGA出力も使用できます。



⚠ Caution

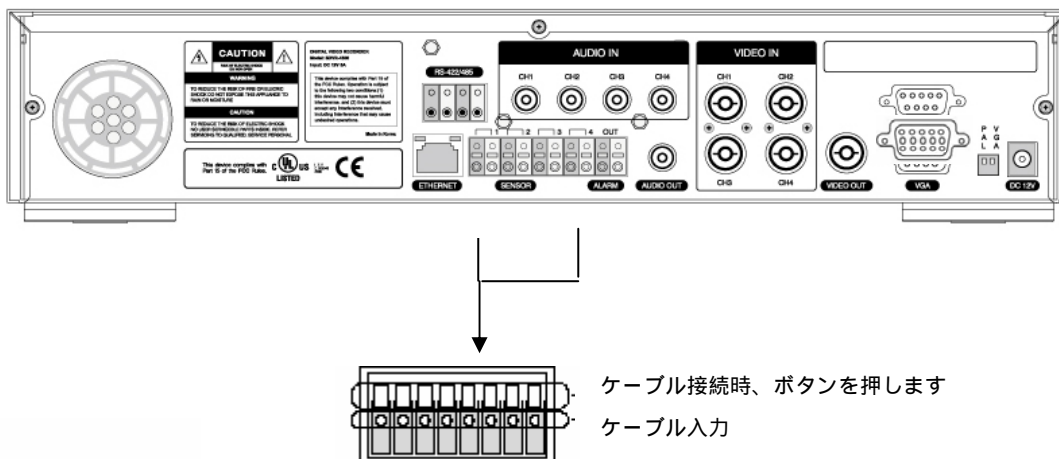
- VIDEO OUTPUT (映像出力) とVGA出力の同時使用はできません。
- PCモニターで再生時、数フレーム失われますが、この症状は故障ではなく正常です。(5章 5.1「操作開始前の初期チェック」を参照ください)。

3.2.4 外部コネクター

アラーム入力 (ALARM)

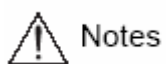
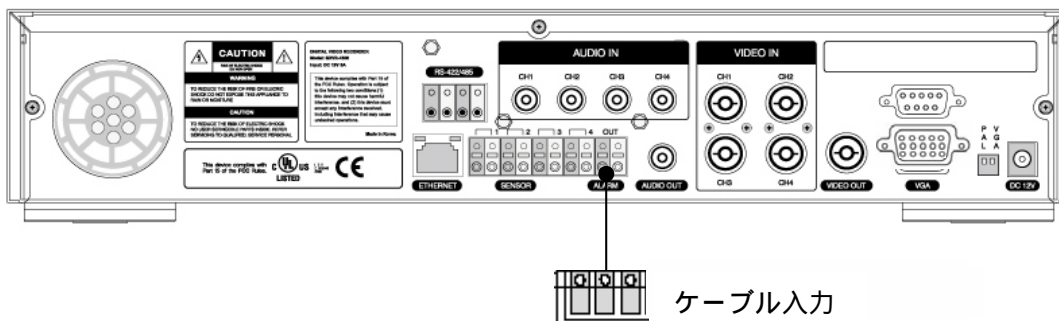
この外部センサー接続端子は、接続されたセンサーからの信号を入力します。

入力状態により、NO (ノーマリーオープン)、NC (ノーマリークローズ)、OFFを選択できます。



リレー出力

このALARM OUT(アラーム出力) 端子は、外部機器へのアラーム出力に利用するリレー接点です。



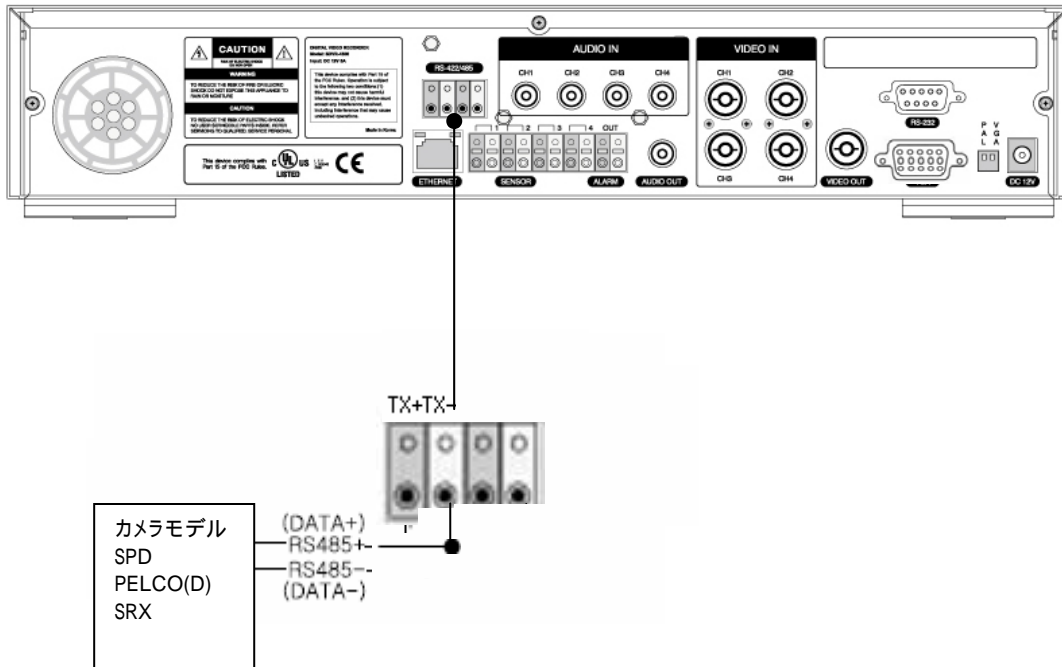
Notes

各リレー出力の操作は、メインメニューのイベント設定のセンサーとモーション検出と組み合わせて設定できます。(4章 4.5.3 「CH1~CH4」のリレー設定の詳細を参照ください。)

外部機器制御端子 (RS-422/485)

この端子はPTZカメラなど制御する外部機器に接続します。

内部JP2終端でRS 422/485通信機器の切換を終端抵抗でON/OFFします。



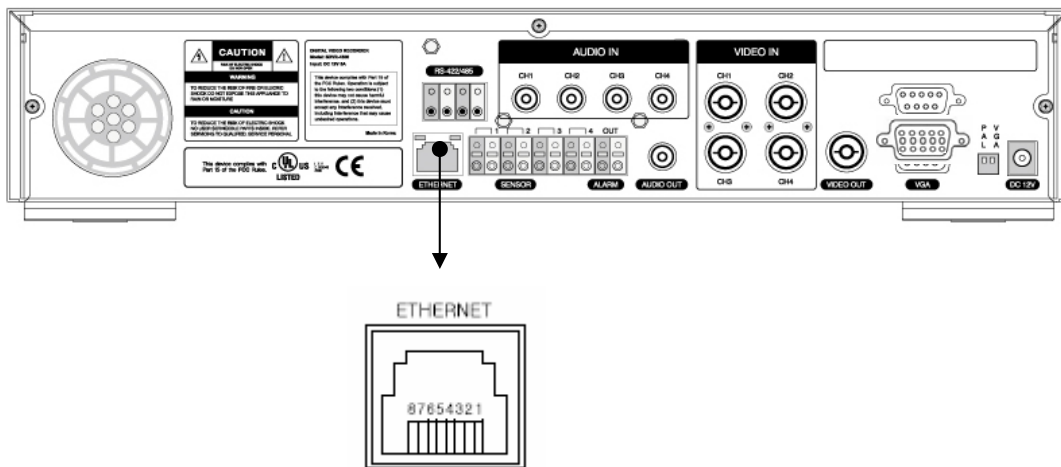
仕 様		
No.	RS-422	RS-485
1	TX+(+Transmit Data)	Data+
2	TX-(- Transmit Data)	Data-
3	RX+(+Receive Data)	
4	RX-(- Receive Data)	



Caution

RS 485使用時は、TX+ に Data+ を、TX にData を接続します。

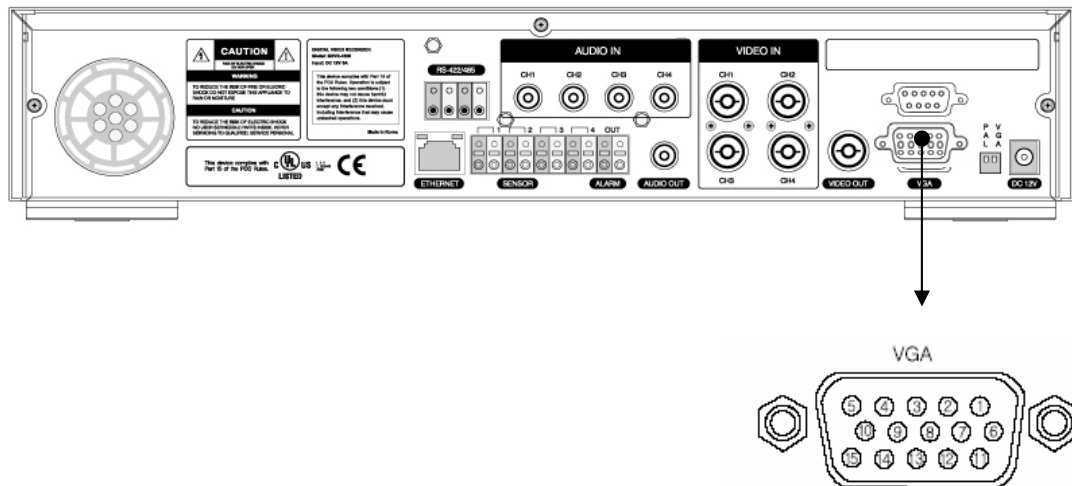
LAN 接続(Ethernet 10/100 Base T)
 このポートはネットワークに接続します。



No.	仕様	No.	仕様
1	TX+(Transmit Data)	5	N/C(No connection)
2	TX-(Transmit Data)	6	RX-(Receive Data)
3	RX+(Transmit Data)	7	N/C(No connection)
4	N/C(No connection)	8	N/C(No connection)

PCモニター出力（VGA）

VGAモニターへの出力コネクターです。DIPスイッチでコンポジット映像と切換えて出力します。



No.	仕様	No.	仕様
1	R信号(75, 0.7Vp p)	9	N/C(接続なし)
2	G信号(75, 0.7Vp p)	10	接地
3	B信号(75, 0.7Vp p)	11	接地
4	N/C(接続なし)	12	N/C(接続なし)
5	接地	13	HSYNC (水平同期信号)
6	接地	14	VSYNC(垂直同期信号)
7	接地	15	N/C(接続なし)
8	接地		

4章 設定方法

4.1 メニュー設定

前面のMENUボタンあるいはリモートコントローラーのMENUボタンを押すと、装置の設定に関する各種のメニューが現れます。これらのメニューは下記のように分類されます。

画面設定、録画設定、システム設定、ネットワーク&シリアル設定、イベント設定及びPTZ設定です。

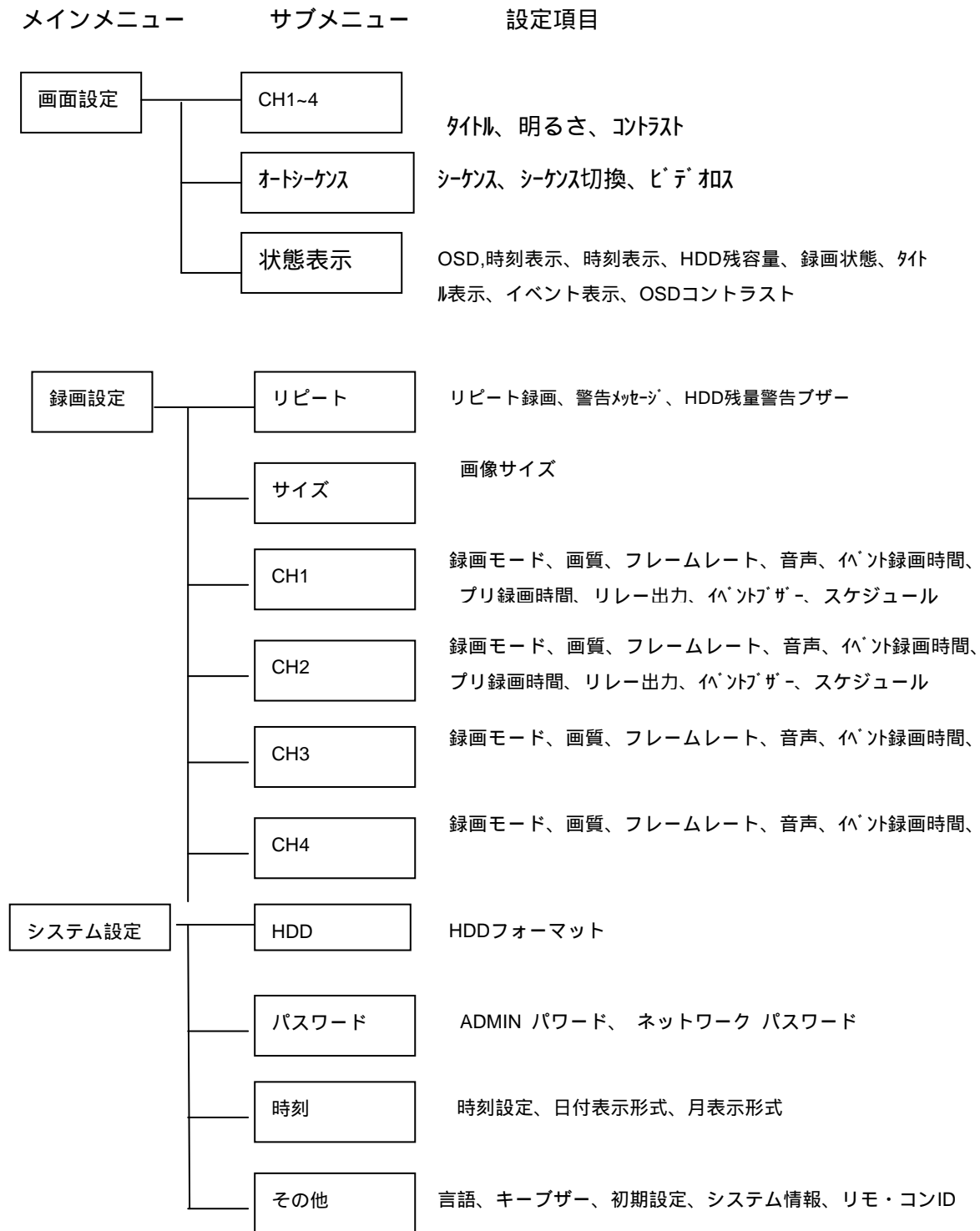


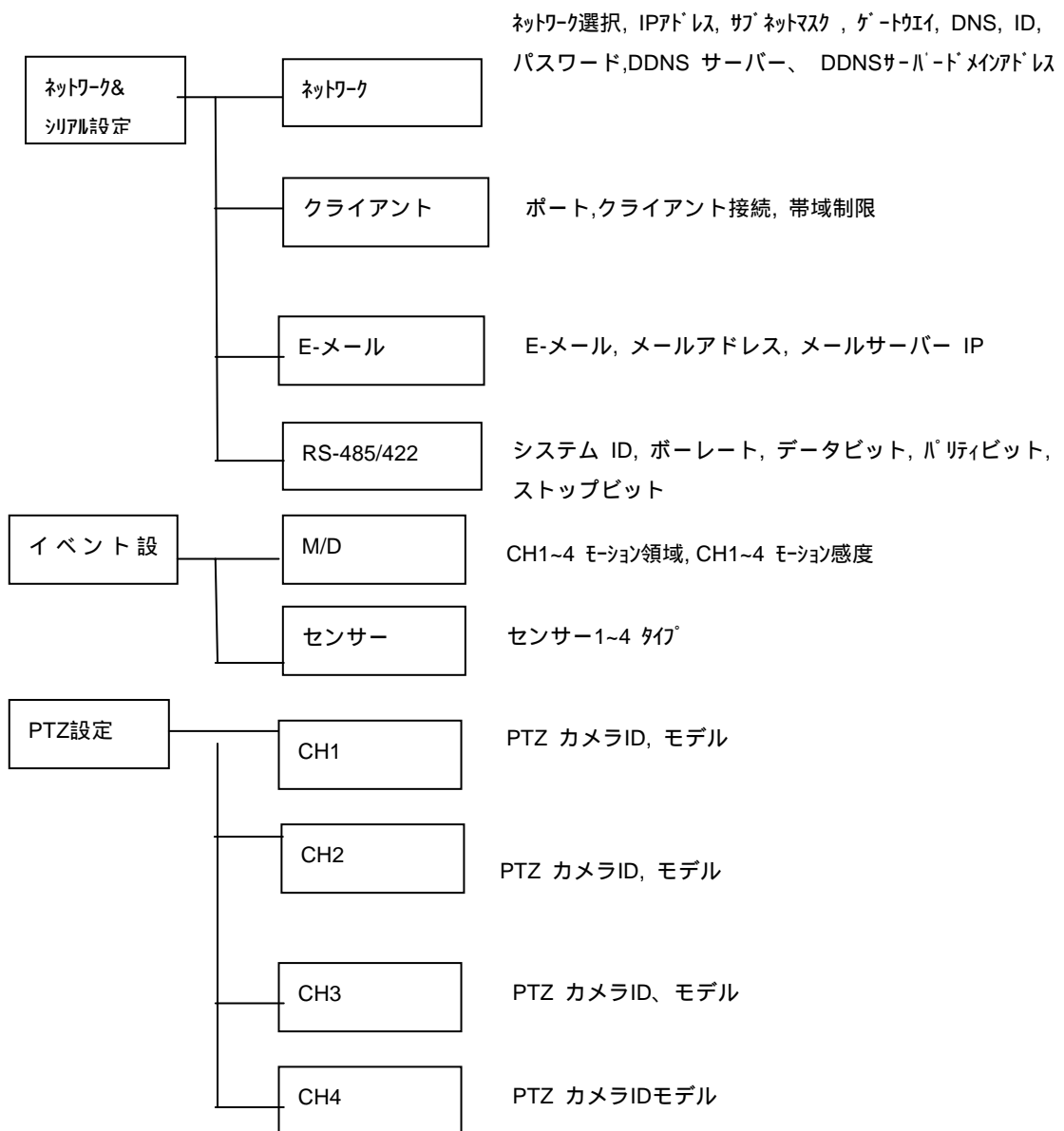
Notes

工場出荷時の初期設定は日本語です。



メニューの分類は下記の通りです。





4.2 初期設定

SVR-440は工場出荷時、下記の設定状態で出荷されます。初期設定値に設定メニューを初期化するには、メニューの[システム設定]-[その他]の[初期設定]で[はい]を選択します。これにより、変更されたすべての設定値は下記の設定値に初期化されます。

画面設定

メインメニュー	サブメニュー	初期設定
CH 1~4	タイトル 明るさ コントラスト	1, 2, 3, 4 0 0
オートシーン	シーケンス シーケンス切換時間 ビデオロススキップ	OFF 1秒 OFF
状態表示	OSD 時刻表示 HDD残容量 録画状態 タイトル表示 イベント表示 OSD コントラスト	ON ON ON ON ON ON 90%

録画設定

メインメニュー	サブメニュー	初期設定
リピート	リピート録画 警告メッセージ HDD残量警告ブザー	ON 1% OFF
サイズ	画像サイズ	4分割
CH1	録画モード 画質 フレームレート 音声 イベント録画時間 プリ録画時間 リレー出力 イベントブザー スケジュール	常時録画 標準 1F/秒 OFF 5秒 5秒 OFF OFF OFF 設定

CH2	録画モード 画質 フレームレート 音声 イベント録画時間 プリ録画時間 リレー出力 イベントブザー スケジュール	常時録画 標準 1F/秒 0FF 5秒 5秒 0FF 0FF 設定
CH3	モード 画質 フレームレート 音声 イベント録画時間 プリ録画時間 リレー出力 イベントブザー スケジュール	常時録画 標準 1F/秒 0FF 5秒 5秒 0FF 0FF 設定
CH4	モード 画質 フレームレート 音声 イベント録画時間 プリ録画時間 リレー出力 イベントブザー スケジュール	常時録画 標準 1F/秒 0FF 5秒 5秒 0FF 0FF 設定

システム設定

メインメニュー	サブメニュー	初期設定
HDD	HDDD フォーマット	フォーマット
パスワード	ADMIN パスワード ネットワーク パスワード	設定 設定
時刻	時刻設定 日付表示形式 月表示形式	設定 年/月/日 数字表示

その他	言語 キーブザー 初期設定 システム情報 リモコンID	日本語 OFF 設定 表示 1
-----	---	-----------------------------

ネットワーク&LAN設定

メインメニュー	サブメニュー	初期設定
ネットワーク	TYPE IP アドレス サブネットマスク ゲートウェイ DNS ID PW DDNS サーバー DDNS サーバー ドメインアドレス	LAN 000.000.000.000 000.000.000.000 000.000.000.000 000.000.000.000 - - OFF ns.standalone4ch.com
クライアント	ポート クライアント接続 帯域制限	3495 ON ON
E-メール	E-メール メールアドレス メールサーバー IP	OFF SETUP 211.174.110.134
RS-485/422	システムID ボーレート データビット パリティビット ストップビット	0 9600 8 NONE 1

イベント設定

メインメニュー	サブメニュー	初期設定
M/D	CH1~4 モーション領域 CH1~4 モーション感度	全領域 7
センサー	センサー 1 タイプ センサー 2 タイプ センサー 3 タイプ センサー 4 タイプ	OFF OFF OFF OFF


PTZ設定

メインメニュー	サブメニュー	初期設定
CH1	PTZ カメラ ID モデル	0 NONE
CH2	PTZ カメラ ID モデル	0 NONE
CH3	PTZ カメラ ID モデル	0 NONE
CH4	PTZ カメラ ID モデル	0 NONE

4.3 メニュー画面設定

リモートコントローラー-或いは本体のMENUボタンを選ぶと、下記メニュー画面が現れます。



 **Notes** MENUボタンを押すと、背景画面は4分割画面に切換わります。

- ・ メインメニュー:各タブに対応したメインメニュー選択
- ・ サブメニュー:メインメニュー内で設定できるサブメニュー選択



- ・ 設定項目：サブメニューで設定を変更する。
- ・ 設定方法：このメッセージはメニュー設定の説明。
- ・ 録画設定には、少し時間を要します しばらくお待ちください。
- ・ 録画設定以外は、設定変更は即時実行されます。

操作

* 本体のボタンで用いる装置の操作

- メニュー間の移動：矢印  ボタンを押す。
- 設定値の変更：. 矢印  ボタンを押す。
- メニュー画面を終る：ESCボタンを押す。

*リモートコントローラーを用いる操作

- メニュー間を左/右に移動： 矢印  ボタンを押す。
- 設定値の変更： 矢印  ボタンを押す。
- メニュー画面を終る：ESCボタンを押す。

4.4 画面設定

MENUボタンを押すと、画面設定に関するサブメニューが下図のように現れます。▼ ボタンを押し、左/右矢印ボタンでサブメニューを選択します。

パスワードが設定されていると、最初にパスワード入力画面が現れます。パスワードを入力して「ENT」ボタンを押します。

次に、▼ ボタンでサブメニューに入り、上/下ボタンで設定項目を選びます。



4.4.1 CH1~CH4

チャンネルタイトル、明るさなど、カメラチャンネルに関する設定項目を選びます。



- ・ **タイトル** :タイトルは各チャンネルごとに設定できます。タイトルを選び、ENTボタンを押すと、タイトル入力用のキーボードが下図のように表示されます。タイトル内の文字の位置は ◀ ▶ ▼ ▲ ボタンで設定できます。



- カーソル移動で文字を選びENTボタンを押し確定します。
 - 文字列間の移動は、上/下/左/右矢印ボタンを押します。
 - スペースを挿入するには、カーソルを画面のSPACEに移動し、ENTボタンを押します。
リモートコントローラではSELECTボタンを押します。
 - CapsLockボタンを押すごとに、2種類の文字パターン画面を切り換えます。
 - BS :すでに確定した文字を1文字ずつ消去します。
 - Clear :すでに確定した文字を消去します。
 - ESCボタンを押し設定メニューを抜けます。
-
- ・ **明るさ**: 数値を変更することで画面の明るさを調整します。
 - ・ **コントラスト**: 数値を変更することで画面のコントラストを調整します。

4.4.2 オートシーケンス

ライブ画面はあらかじめ設定された切替時間で、自動的に<CH1 -> CH2 -> CH3 -> CH4 >に切替わります。画面切替え時間は、[シーケンス]メニューで1～10秒の間で設定できます。



- ・ シーケンス : オートシーケンスモードをONに設定します。
- ・ シーケンス切替時間: 各チャンネルの画面表示時間間隔で、切替時間は、1～10秒の間で設定できます。
- ・ ビデオロススキップ : [ビデオロス・スキップ]を [ON]に設定します。映像入力信号がないチャンネルを自動的にスキップし、映像入力信号があるチャンネルのみ表示します。

4.4.3 状態表示

ライブ画面に表示させる情報を選択します。



- ・ [OSD] [ON/OFF] : OSDが[ON]で、状態情報がライブ画面に表示されます。
- ・ [時刻表示] [ON/OFF]: 時刻表示が [ON]で、ライブ画面に現在時刻が表示されます。
- ・ [HDD残容量][ON/OFF] : [HDD 残容量]が[ON]で、HDDの残容量が表示されます。

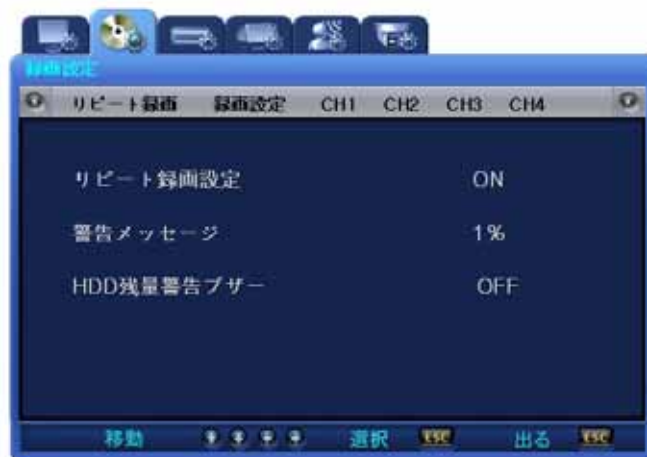
- ・ [録画状態][ON/OFF] : [録画状態]が[ON]で、録画中の画面のコーナーに録画状態が表示されま
す。
- ・ [タイトル表示] [ON/OFF]: [タイトル表示]が [ON]で、ユーザーによりチャンネルタイトル・
サブメニューで設定されたCH1～CH4のタイトルが、ライブ画面に表示
されます。
- ・ [イベント表示][ON/OFF]: [イベント表示]が [ON]で、イベント情報がイベント発生時表示さ
れます。
- ・ [OSDコントラスト] :OSDメニューでコントラストを設定します。数値が高いほどOSDは暗くな
ります。

4.5 録画設定

MENUボタンを押すと、画面設定に関するサブメニューが下図のように現れます。

▼ ボタンを押し、左/右矢印ボタンでサブメニューを選択します。

次に、▼ ボタンでサブメニューに入り、上/下ボタンで設定項目を選びます。



4.5.1 リピート録画

HDDに監視画面が録画され、容量がフルになったとき上書き又は停止するか設定します。

- ・ [リピート録画] [ON/OFF]:設定でリピート録画するか、上書きしないか設定します。
- ・ ON: HDDの残容量がなければ、録画済のデータに上書します。
- ・ OFF: HDDの残容量がなくなれば、録画は停止します。
- ・ [警告メッセージ]:HDDの残容量があらかじめ設定した割合(%)になると、警告メッセージが表
示されます。警告レベルは、通常 1～10%、5～10%に設定できます。
- ・ [HDD残量警告ブザー]: HDDの残容量が設定した割合(%)になったとき、警告ブザーを鳴らすか、
鳴らさないか[ON/OFF]で設定します。



4.5.2 録画設定

- ・ [画像サイズ] : 単画面(720X480) あるいは4分割画面(360X240)の解像度を設定します。



4.5.3 CH1~CH4 チャンネル設定


チャンネルごとに録画の詳細設定をおこないます。



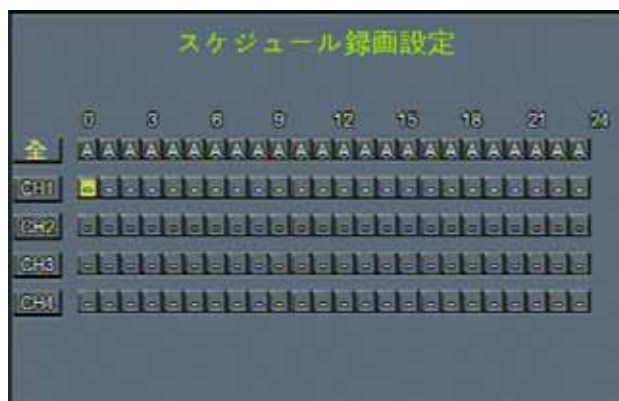
- ・ [録画モード] : 下記のように4つの録画方式から1つを選びます。

常時録画	24時間連続録画モード
スケジュール	タイマー録画
モーション検出	入力映像内に動く被写体を検出すると、録画を開始します。
センサー	アラーム発報時、録画を開始します。
無効	録画禁止の設定モード。

- [画質][高/標準/低] : 録画映像の圧縮レベルの設定。
- [フレームレート] : 録画のフレームレートの設定。単画面(720X480)に対しては最高 30F/秒、4分割画面(360X240)に対しては最高 120F/秒。
- [音声] : 音声を録音するか選択します。
- [イベント録画時間] : イベント発生時、録画保持時間を設定します。時間は1 ~ 30 秒。
- [プリ録画時間] : プリイベント録画時間を設定します。設定値は5秒間と[OFF]です。
- [リレー出力] : [ON]に設定すると、リレー出力が働きます。
- [イベントブザー] : [はい]に設定すると、イベント発生時、イベントブザー音が鳴ります。
- [スケジュール] : カーソルが[スケジュール]にあわせ、ENT ボタンを押すと、下図のスケジュール設定画面が現れます。

 Notes

イベントブザーはCh1 ~ Ch4に適用されます。



スケジュール録画は一日24時間単位で設定できます。◀ ▶ ▼ ▲ ボタンを押して希望の時間に移動し、ENTボタンで希望の録画モードを選択します。

[ALL]の位置でENTを押すと全チャンネルの設定ができます。

C : 連続録画

S : センサー録画

- M : モーション検出録画
- : 設定の取り消し

4.6 システム設定

システム関連の設定です。MENUボタンを押すと、システム設定に関するサブメニューが下図のように現れます。▼ ボタンを押し、左/右矢印ボタンでサブメニューを選択します。次に、▼ ボタンでサブメニューに入り、上/下上/下ボタンで設定項目を選びます。



4.6.1 HDD

HDD フォーマット : フォーマットを選びENTボタンを押し、HDDを初期化する場合「はい」を選びます。HDDに記録されたすべてのデータが削除され、機器はシステム安定化のため自動的に再起動します。

4.6.2 パスワード

Admin 及びネットワークパスワードの設定



ネットワークアドレス : ネットワークアドレスはネットワークを通して本機にアクセスする場合に必要です。上/下及び左/右ボタンを用いて4桁のパスワードを設定します。

初期出荷時のパスワードは「1111」です。

- ・ ADMIN パスワード : Admin パスワードですべてのシステムの設定が可能です。
上/下及び左/右ボタンを用いて4桁のパスワードを設定します。
初期出荷時のパスワードは「1111」です。

4.6.3 時刻

時刻を設定します。



- ・ 時刻 : このメニューで時刻を設定します。時刻を変更するとシステム安定化のため、自動的に再起動します。
- ・ 日付表示形式 : 年月日の表示形式を設定します。下記の種類から選びます。
日/月/年、年/月/日、日/月/年あるいは年-月-日、月-日-年、日-月-年
- ・ 月表示形式 : アルファベットの英語表示とするか、数字表示とするか選択します。

4.6.4 その他



- ・ 言語 : メニュー画面の言語を選択します。英語、韓国語を選択できます。
- ・ キー・ブザー : ボタンを押したとき、ブザー音を鳴らすかどうか選択します。
- ・ 初期設定 : 装置を工場出荷時の初期設定に初期化します。
- ・ システム情報 : ソフトウェアのバージョン、HDD録画容量、IP アドレス、MAC アドレスなどの詳細情報を表示します。

- ・ リモコンID : リモコンIDを設定します。0 を選ぶと画面にR:Aが現れ、1 台のリモコンですべてのDVRをリモコン制御できます。

複数のDVRのリモコンは1 台のリモコンで切り換えます。

4.7 ネットワーク & シリアル 設定

ネットワーク及びRS-485/422に関するメニューの設定です。

MENUボタンを押すと、ネットワーク及びシリアルに関するサブメニューが下図のように現れます。▼ ボタンを押し、左/右矢印ボタンでサブメニューを選択します。

次に、▼ ボタンでサブメニューに入り、上/下ボタンで設定項目を選びます。

4.7.1 ネットワーク

コンピュータへのネットワーク接続に必要な項目を設定します。



- ・ TYPE [ADSL/LAN/DHCP] : コンピュータに接続するネットワークの種類を選びます。
- ・ IP アドレス: インターネットのサービスプロバイダーから指定された[IP アドレス] を入力します。
- ・ SUBNET MASK(サブネットマスク): インターネットのサービスプロバイダーから指定された [サブネットマスク] アドレスを入力します。
- ・ GATEWAY(ゲートウェイ): インターネットのサービスプロバイダーから指定された [ゲートウェイ] アドレスを入力します。
- ・ ID: サービスプロバイダーに登録したユーザーIDを入力します。
- ・ パスワード: サービスプロバイダーに登録されたユーザーパスワードを入力します。
- ・ DNS: インターネットのサービスプロバイダーから指定された[DNS] アドレスを入力します。
- ・ DDNS サーバ - ON/OFF: DVRをダイナミックIPで接続している場合、IPアドレスはISPに接続するため常に変化します。この場合、変更されたIPアドレスをユーザーは知ることができません。ダイナミックIPを使用する機器(DVR)がドメイン名と共に登録されていれば、そのドメイン名は容易に知ることができ、IPが変更されても接続できます。

4.7.2 クライアント接続



- ・ PORT(ポート): コンピュータに接続する場合、指定された [ポート]を変更します。
- ・ CLIENT ACCESS(クライアント接続): ネットワークをアクセスするパスワードを設定します。
- ・ 帯域削減: [帯域削減]をONにすると、伝送されるフレームレートは1F/秒になります。

4.7.3 E-メール

接続されているダイナミックIPを変更する場合、登録されたE-メールアドレスへ新しいIPアドレスを送ります。



- ・ E-メール(送信): E-メールを使用する場合、 ONに設定します。
- ・ メールアドレス: ENTボタンを押してキーボード画面を表示させ、 E-メールアドレスを入力します。
文字画面は「Caps Lock」を選びENTを押して切換必要な文字を選択します。
- ・ メール サーバー IP: 初期設定を保持してください。



4.7.4 RS-485/422

RS-485の接続仕様を設定します。例えば、カメラと装置（DVR）間です。



- ・ SYSTEM ID(システム ID): カメラ等の機器を接続する場合、機器のIDを設定します。
- ・ BAUD RATE(ボーレート): 伝送データの伝送速度を設定します。
- ・ DATA BIT(データビット): 伝送データのビットを設定します。
- ・ PARITY BIT(パリティビット): 伝送データのエラー検出手法を設定します。
- ・ STOP BIT(ストップビット): 伝送データの終端に挿入するビットを設定します。

4.8 イベント設定

イベント録画のため下図のサブメニューを設定します。



4.8.1 モーション検出

CH1~4 [ON OFF] : チャンネルごとのモーション検出を設定します。

- ・ 感度 : 画面のモーション検出感度を1~9レベルで設定できます。数値の大きい方が感度が高くなります。
- ・ 領域設定 : モーション検出の領域を画面全域か部分領域か選択します。
 - 全領域 : 画面全領域内のモーションを検出します。
 - 部分領域 : モーション検出領域を選ぶことができます。

上下左右ボタンで位置を移動しENTボタンで検出ブロックを確定します。



4.8.2 センサータイプ

外部センサーからの検出信号入力をイベントと認識します。各チャンネルに接続されたセンサーの出力信号を選択できます。



- N/O : ノーマリーオープン・タイプ センサー
- N/C : ノーマリークローズ・タイプ センサー
- OFF

4.9 PTZ 設定

PTZに関するメニューの設定です。

MENUボタンを押すと、PTZに関するサブメニューが下図のように現れます。

▼ ボタンを押し、左/右矢印ボタンでサブメニューを選択します。

次に ▼ ボタンでサブメニューに入り、上/下ボタンで設定項目を選びます。



4.9.1 チャンネル毎の設定

チャンネルを選びカメラIDを指定し、カメラモデルを設定します。

・ PTZ カメラ ID (0~255) : 0 ~ 255までの各カメラIDを設定できます。

・ モデル (SPD/PELCO) : 接続するカメラのメーカーを選びます。

候補にないカメラは動作しません。

- 利用可能なモデル

- Samsung : SPD(SPD-1600, SPD-2200, SPD-2500)
- PELCO(D) : PELCO D Speed Dome using Protocol
- SRX : SRX-100B, DONGYANG, WON WOO, CANON, DYNACOLOR, SONY 等。

4.10 メニュー終了

設定が終了後メニューを閉じる場合はESCボタンを押します。コンボボックスが現れます。「はい」を選び、ENTボタンで設定値を保存します。

4.11 その他

4.11.1 ファームウェア更新

ファームウェアをダウンロードして、ソフトウェアの更新ができます。USBメモリースティックでファームウェアをダウンロードできます。

- ・電源を一旦切ります。
- ・ESCボタンを押しながら、電源スイッチをONします。
ESCボタンは、初期メッセージが画面に表示されるまでボタンを離さないでください。
- ・「はい」を選びパスワードがONに設定されているときは、パスワードを入力しテストモードに入ります。



- ・USBメモリースティックは事前に "UPGRADE" と名づけるフォルダーを作ります。そのフォルダーにアップグレードファイルをコピーし、DVR本体のUSBメモリーポートに挿入します。



画面で USB UPGRADEを選びENTボタンを押すと、ファームウェアの更新が自動的に開始します。



- ・ 更新が終了すると、DVR本体は再起動し、テストモードの再起動を選びます。
- ・ DVRが再度、再起動し、ライブ監視画面に戻ります。ファームウェアの更新は終了です。

4.11.2 時刻変更

DVRの時刻を変更したり、時間誤差が発生した場合、下記のメッセージが表示されます。
この問題を解決するために装置（DVR）の時刻を修正します。



- ・ 上図のメッセージが現れたら電源を一旦切ります。ESCボタンを押しながら電源をONします。
（下図の初期メッセージが画面に表示されるまでボタンを押し続けます。）



- ・ カーソルをRTC Configurationに移動し、ENTボタンを押すと、下記画面が現れます。



正しい年/月/日/時/分/秒を入力し、ENT ボタンを押します。
正しい入力をするように注意してください。さもないと、HDD に記録されたデータは削除されます。
BOOT APPLICATION を選び、 ENT ボタンを押すと、装置 (DVR) は再度、再起動されてライブ監視画面モードに戻ります。



Caution

-
- * USBメモリースティックが装置 (DVR) と併用できるか、調べてください。
 - SAN DISK CO, PRETEC , LG, INNOTECH C&C, TRANSCEND, etc.
 - * “ TEST MODE ” , “ FACTORY DEFAULT ” , “ MAC CONFIGURATION ” は製造会社のみの使用です。他メーカーのUSBは使用しないでください。
-

5章 操作

5.1 操作開始前の初期チェック

- 電源投入前に映像方式：NTSCかPAL、映像出力：コンポジットとVGA出力が設定してください。
背面パネルのスイッチで切換ます

映像方式：日本NTSC 映像出力BNC = コンポジットまたはVGA

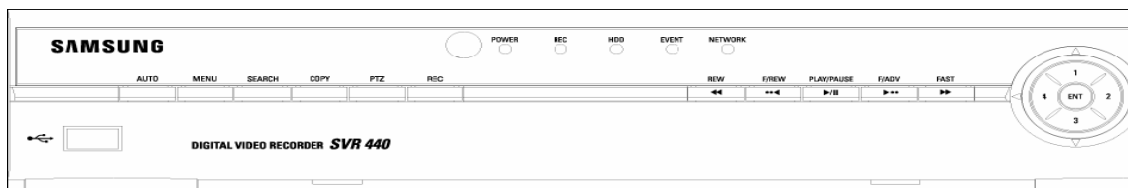
設定	映像方式		映像出力	
	NTSC	PAL	BNC	VGA
 初期設定	0	X	0	X
	X	0	0	X
	0	X	X	0
	X	0	X	0

5.2 電源接続

- 電源投入前に電源ケーブルを電源コネクタに接続します。
- 電源投入後、映像入力信号の有無は自動的に認識されます。
- 全ての設定値は、電源断後でも保持されます。

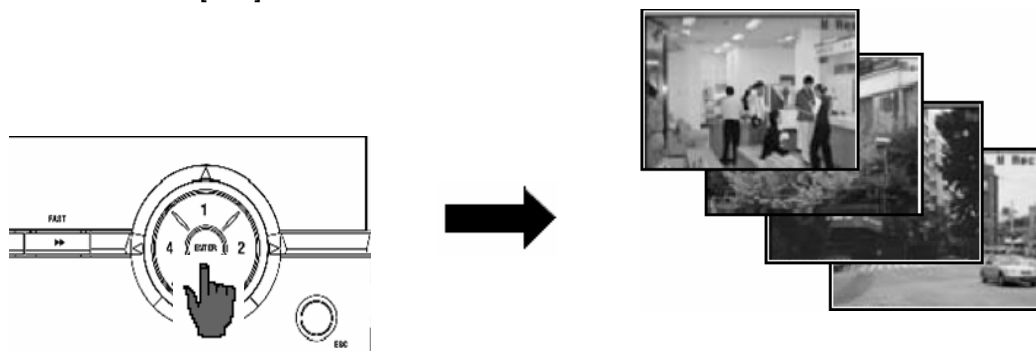
5.3 ライブ映像画面（現在画面）

映像画面がモニターに表示されます。

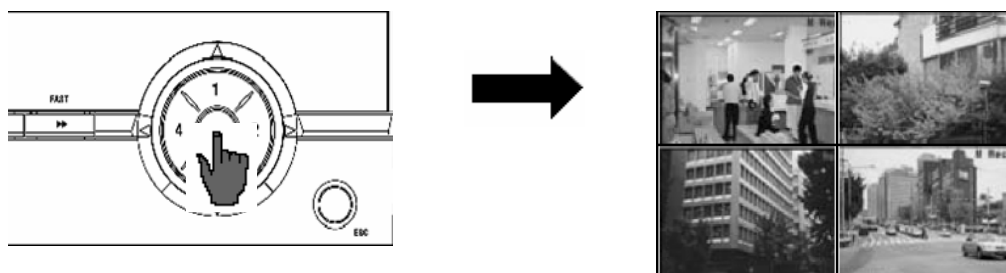


5.3.1 単画面及び多画面表示

チャンネルボタン[1~4]を押すと各チャンネルの映像が単画面で表示されます。

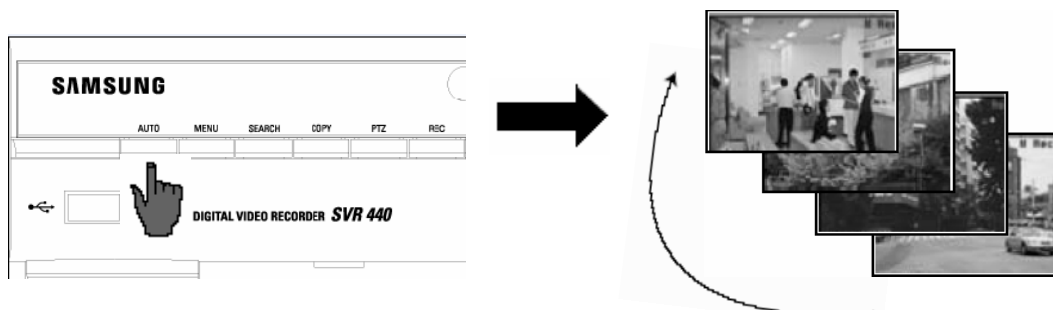


ENTボタンを押すと、4チャンネルの映像が4分割画面で表示されます。



5.3.2 オートシーケンス表示


AUTOボタンを押すと、各チャンネルの映像は[画面設定]-[シーケンス]メニューで設定された時間間隔で自動的に切替わります。




再度AUTOボタンを押すと、オートシーケンス表示は解除されます。


5.4 録画

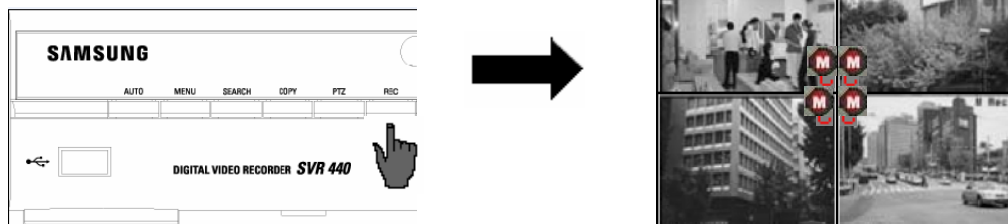
5.4.1 通常録画

RECボタンを押すと手動録画が即座に開始され、録画状態を示すメッセージ () が画面中央部に表示されます。 RECボタンを再度押すと、各チャンネル毎の録画モードに従いプリ設定録画が始まります。アイコンは下図のように表示されます。

 : 連続録画

 : センサー録画

 モーション録画



5.4.2 スケジュール録画

メニューで [録画設定]-[CH1~CH4]-[録画モード]が [スケジュール]に設定されていると、録画は自動的にスケジュールに従い実行されます。



Notes

画面の録画状態表示は、録画状態によります。関連チャンネルが録画されない場合、 " " 印が表示されます。

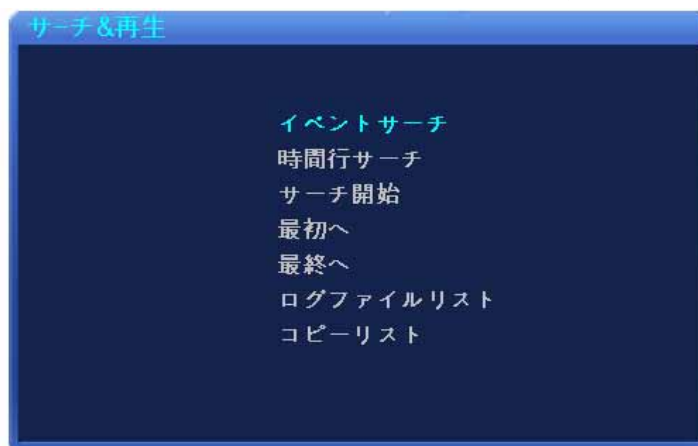
C : 連続録画

S : センサー録画

M : モーション検出録画

5.5 映像のサーチ

SEARCHボタンを押すと、下図のようにサーチメニューが現れます。録画された映像を時間、イベントあるいは日時及びログファイルでサーチ及び再生できます。



5.5.1 イベントサーチ

イベントサーチを選択し、ENTボタンを押すと下図が表示されます。



- ・ 青色の日は録画データがある日を示します。
- ・ 日時、チャンネル及びイベントタイプを選び、PLAYボタンを押して再生します。
再生状態は以下の各項の手順を参照ください。

5.5.2 時間ラインバー

時間ラインバーを用いて容易に希望するサーチ時間を選択できます。

カレンダーを表示する日付の上で ENTボタンを押し、再度ENTボタンを押すと下図が表示されます。



- ・ 録画データの時間帯は色で表示されます。

5.5.3 時間サーチ

このメニューで希望するサーチ日時を入力できます。
ENTボタンを押すと、下記画面が表示されます。



- 希望するサーチ開始日時を入力し、PLAY ボタンを押して再生開始します。

5.5.4 開始点サーチ

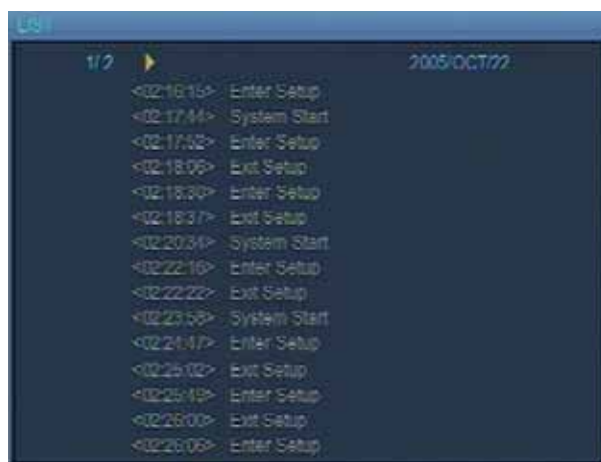
「開始点サーチ」を選びENTボタンを押すと、HDDに記録された最初のデータから再生します。

5.5.5 終了点サーチ

「終了点サーチ」を選びENTボタンを押すと、HDDに記録された最後のデータから再生します。

5.5.6 ログファイル・リスト

「ログファイルリスト」を選択し、ENTボタンを押します。下記のログファイルが表示されます。カレンダーの希望する年月日を選びます。ESCボタンを押してこのメニューを終了します。



5.5.7 コピーリスト

バックアップ用のUSBメモリースティックにHDDの内容を保存できます。静止画及び動画映像をバックアップできます。最大バックアップ可能時間は999秒です。

5.5.7.1 静止画バックアップ

「HDDへのコピー」

- ・ 監視中の映像をバックアップしたい時、COPY ボタンを押します。図1が表示され、「はい」を選ぶとHDDに映像がコピーされます。(後でUSBメモリースティックに転送できます)
- ・ SEARCH ボタンを押して、カレンダーを表示させます。希望する日時を選び、ENT ボタンを押すと図2のコピーリストが表示されます。
- ・ 先にHDDへコピーされたリストの中からバックアップ希望リストを選び、ENT ボタンを押すと映像が表示されます。
- ・ 前面パネルのUSBポートにUSBメモリースティック或いはUSB外付きCD-R(推薦モデル以外は保証が出来ません)を繋ぎ、COPY ボタンを押します。そうするとUSBメモリースティックと外付きCD-Rの中で選択出来る窓(図3)が出ます。バックアップしたい媒体を選択するとデータが転送されバックアップが完了し、図3を表示します。(保存終了)



図1

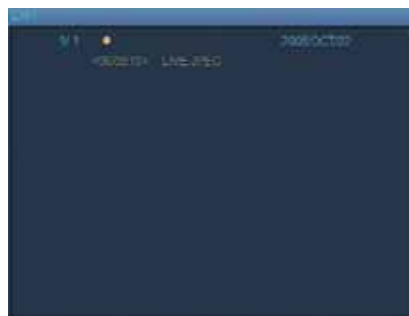


図2



図3



図4

5.5.7.2 映像バックアップ：再生モード中のみ利用可能

- 再生中、PAUSEボタンを押し一時停止し、COPYボタンを押します。静止画あるいは動画映像(図1)を記録するか聞いてきます。動画映像を選び、HDDにコピー時間を設定します。
- SEARCHボタンを押してカレンダーを表示させ、希望する日時を選びENTボタンを押すと図2を表示します。
- コピーリスト(図2)の中から希望のリストを選びENTボタンを押すと、バックアップ映像が表示されます。
- 前面パネルのUSBポートにUSBメモリースティック或いはUSB外付きCD-Rを挿入し、COPYボタンを押します。そうするとUSBメモリースティックと外付きCD-Rの中で選択が出来る窓(図3)が出ます。バックアップしたい媒体を選択するとデータが転送されバックアップが完了し、図3を表示します。(保存終了)
コピー画面で「はい」を選びENTボタンを押しUSBメモリースティックにデータを転送します。バックアップが完了し、図4を表示します。



図1

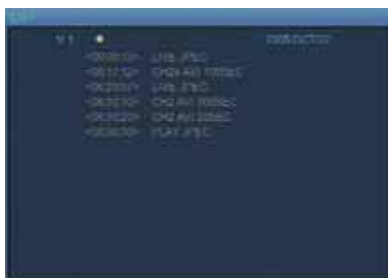


図2



図3

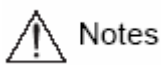


図4

5.6 録画ファイル再生



PLAY/PAUSE	再生及び再生画面のポーズ
◀◀ REW	逆方向再生1X, 2X, 4X
◀◀◀ F/REW	逆方向ジャンプ、再生位置が逆方向に1分移動
F/ADV ▶▶▶	正方向ジャンプ、再生位置が正方向に1分移動
▶▶▶▶ FAST	正方向再生1X, 2X, 4X



Notes

再生中、画質により数フレーム失われることがありますが、これは正常です。

5.7 PTZ


カメラチャンネル(単画面)を選びPTZボタンを押します。カメラのパン、チルトあるいはズームを調整できます。PTZ機能は本体の前面パネルあるいはリモ・コンの操作ボタンで制御できます。画面に「PAN/TILT」および「ZOOM/FOCUS」タブが表示されます



5.7.1 パン/チルト調整 : 「 PAN/TILT 」を選び、ENTボタンを押します。

- パン調整 :  ボタンを押します。
- チルト調整 :  ボタンを押します。

5.7.2 ズーム/フォーカス調整 : 「 ZOOM/FOCUS 」を選び ENTボタンを押します。

- ズーム調整 :  ボタンを押します。
- フォーカス調整 :  ボタンを押します。

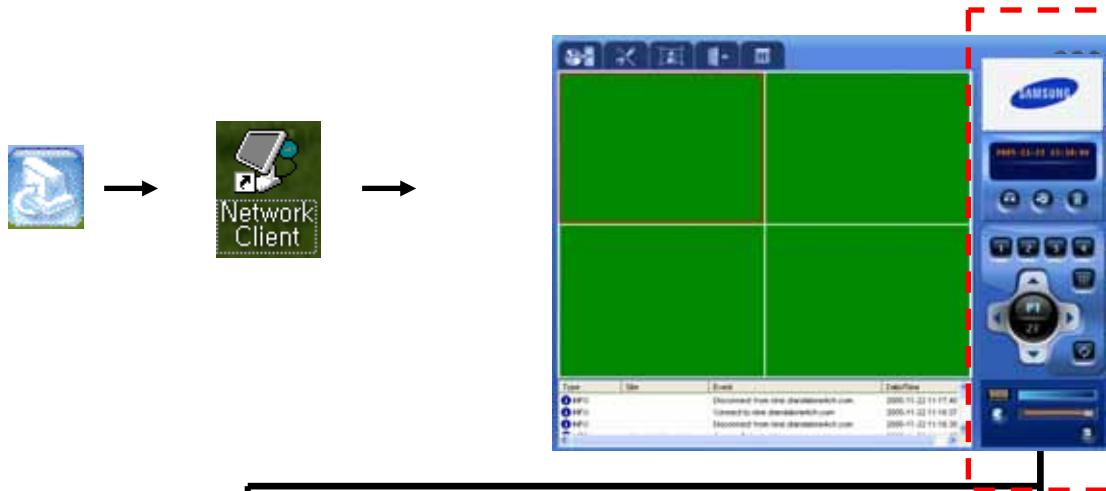
5.7.3 初期化：初期化を選びENT ボタンを押すとPTZカメラを初期化します。



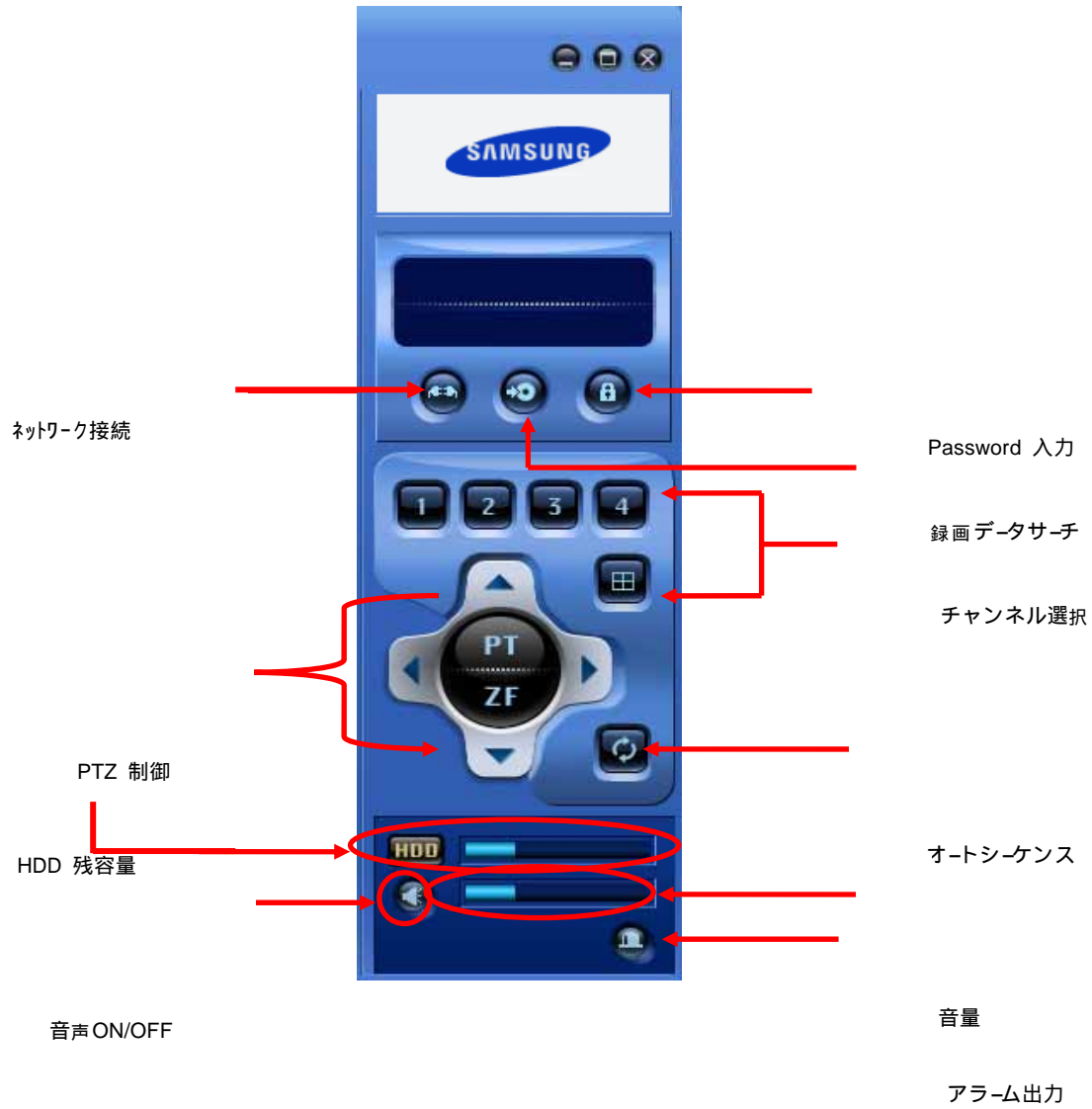
Notes

PTZを作動させるためPTZ制御ボタンを押します。再度押すと停止します。
PTZモードはライブ画面でのみ利用できます。

SvrManager.exe fileをダブルクリックすると、プログラムを開始し、下記画面が表示さ



6.2 ライブ画面の操作パネル





: ネットワーク接続 ボタン

ネットワークビュー プログラムは遠隔地に設置された最大4台のDVRの設定と操作ができます。このため、ネットワークビュープログラムを、遠隔地に設置されたPCへ接続しインストールしてください。



ボタンを押すと下記画面が現れます。この画面にインストールされた遠隔地のDVRに対して、情報の追加、変更あるいは削除ができます。



ボタンを再度押すとネットワーク接続が切れます。



Connect [Close]

Connect to remote system.

IP Address:

Port No:

Protocol:

Password:

OK Cancel

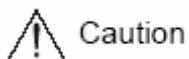
→ IPアドレス

→ ポート番号

→ 伝送プロトコル選択

→ パスワード

- 入力を完了しOKボタンを押します。ライブ映像が表示します。
- DNSとして接続する場合、IP Address ウィンドウにDNSを入力します。





Caution

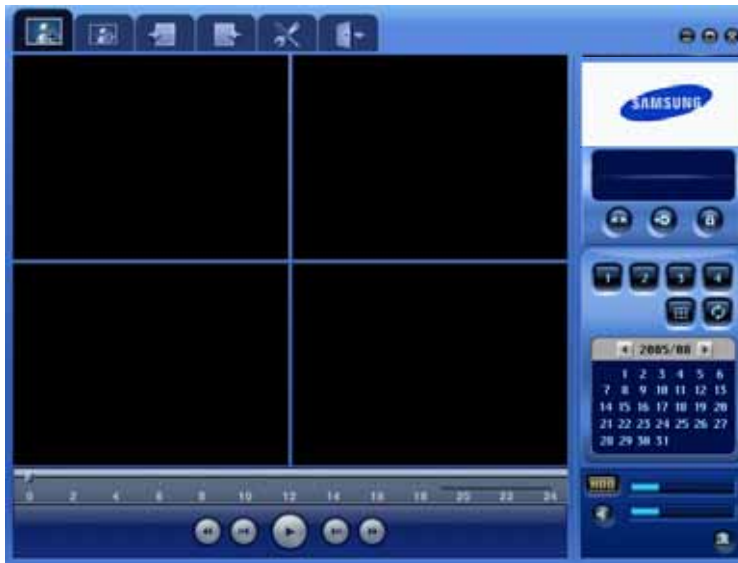
* ライブ監視モードで4台の遠隔地DVRにアクセスできます。 *


ネットワーク経由では、同時に一人のユーザーのみデータのアクセスと再生ができます。


*DVRが「再生中」のとき、ネットワークPCで再生操作はできません。

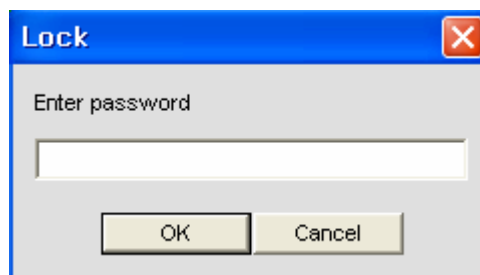
 : 録画データのサーチ再生ボタン



ライブ監視モードで、 ボタンを押すと下記画面が現れ、接続したDVRからデータをサーチ再生ができます。






 : パスワード入力ボックス

 : ボタンを押すと下記画面が現れます。パスワードを入力し、OKボタンを押してパスワードを保存します。1度パスワードを保存すると、ビューアソフトウェアにアクセス及び制御するたびに正しいパスワードを入力するように聞いてきます。



 : チャンネル選択ボタン 1チャンネルを選択でき、 ボタンを押すことで4分割画面が表示されます。

 : オートシーケンス ボタン





 ボタンを押すとオートシーケンスモードが起動します。 1CH 2CH 3CH 4CH.
再度  ボタンを押すとオートシーケンスモードを停止します







: PTZ 制御ボタン

ネットワーク PTZ 機能はPTZカメラをRS-485で接続した場合、制御できます。

. PT : Pan/Tilt制御、PTボタンを押した後、下記ボタンで 水平/垂直に制御します。

-  : 右方向に移動
-  : 左方向に移動
-  : 上向きに移動
-  : 下方向に移動

. ZF : Zoom/Focus制御、ZFボタンを押して下記ボタンを用いて をズーム/フォーカスを制御します。

-  : ズームイン(拡大)
-  : ズームアウト(縮小)
-  : フォーカス(近接)
-  : フォーカス(遠方)



HDD 残容量

DVRのHDD残容量の表示。



: 音声ON/OFFボタン



: 音量調整表示バー。



Notes

SVR-440 は双方向音声通信をサポートします。DVR側とクライアントにマイクと
アンプ&スピーカーを用意してください。



: アラーム

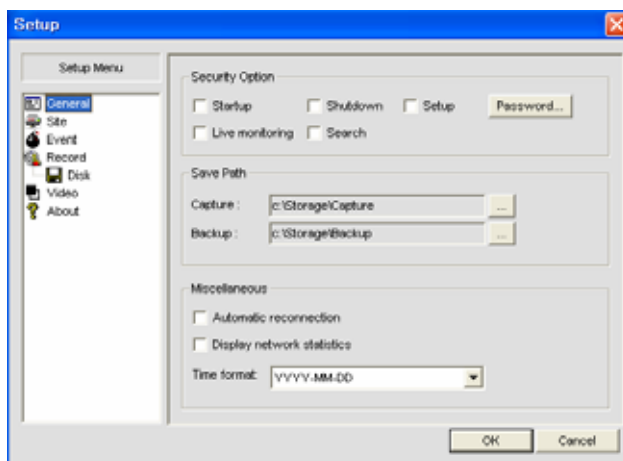
DVRのアラーム発生で赤色に変わります。

6.3 ライブ画面の操作



 : Network Viewerの設定メニュー

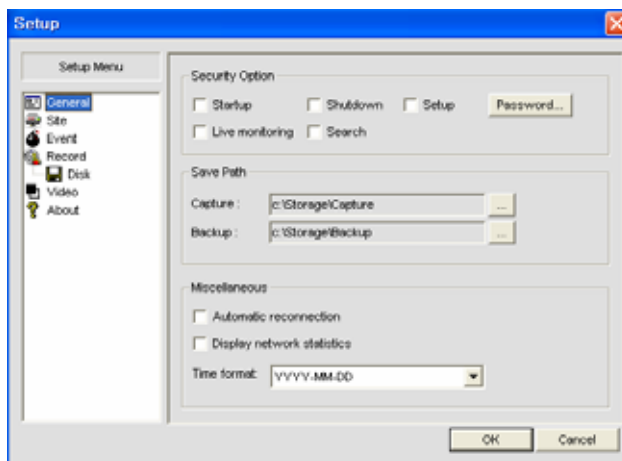
 ボタンを押すと下記画面が現れます。(Admin時)



-1 一般

このメニュー画面でSecurity option、Save path 及び Connect optionを設定できます。

Security option : セキュリティ各種 Save path : データ保存フォルダ設定



- Security Option : 下記のようにパスワードを設定できます。
 - Startup : viewer スタート時にパスワードが必要になります。
 - Shutdown : viewer 終了時にパスワードが必要になります。
 - Setup : viewer の設定変更時にパスワードが必要になります。
 - Live Monitoring : viewer モードをサーチモードからライブ監視モードに切換え時にパスワードが必要になります。必要になります。
 - Search : viewer をサーチモードに変更した場合パスワードが必要になります。

- Save Path

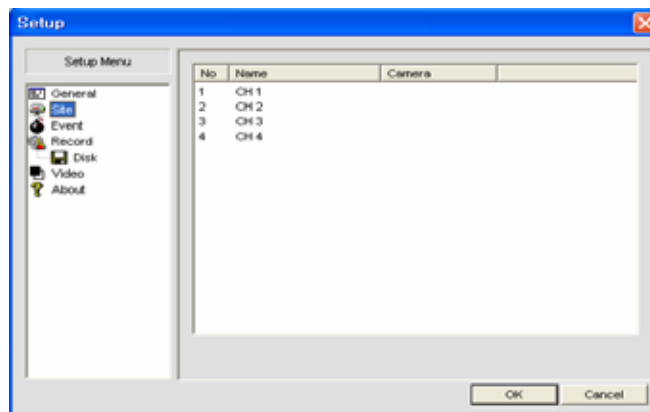
- Capture : PC 内に記憶された静止画像を保存する、保存場所パス名を設定します。
- Backup : PC 内に記憶された静止画像を保存する、保存場所パス名を設定します。

-Miscellaneous (その他)

- Automatic Reconnection : ネットラインが切れた場合、自動的に 10 秒間再接続を試みます。
- Display Network Statistics : 映像の伝送状態を示します。
- Time Format : ビューアに表示される日時表示形式を設定します。

-2 サイト

サイトに接続されているカメラの情報が表示され、ユーザーはこのメニューでカメラタイトルを変更できます。もし、カメラタイトルがネットワークビューアで変更されると、サイトのカメラタイトルは変更されません。



-3 イベント

イベントログファイルを表示するパス名 及びPCに保存するフォルダーサイズを設定します。



- LOG

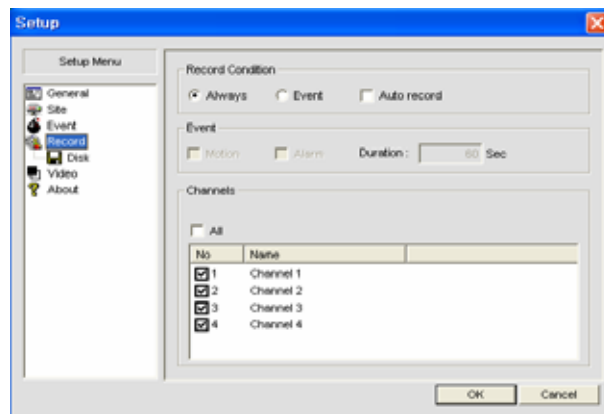
- Path : PC 内の Event Log ファイルを保存する、保存場所パス名を設定します。
- Size : Event Log PCに保存するデータの、フォルダーサイズを設定します。

Log, Icon 及びEvent listのいずれかの設定は、Event タイプにより記憶されます。

Event タイプ


Event	Log	Icon	Event list
Startup	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
Shutdown	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
Setup Change	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
Sensor in	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
Alarm out	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
Motion	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Camera loss	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
Network loss	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
Record	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

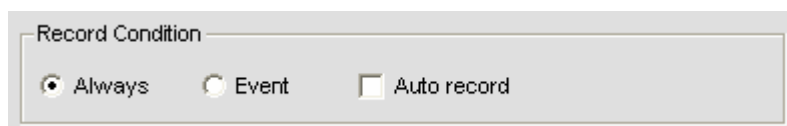
-4 Record



- Record Condition



ライブ監視モードで  ボタンを押しPCに映像を記憶させます。



- Always + Auto
record : ネットワークに接続中、常時接続サイトから伝送される映像を記憶します。
- Event + Auto record : ネットワークに接続中、イベント時のサイトから伝送される映像を記憶します。

- Event

記憶されるEventのタイプを指定できます。Record Condition メニューでEventを選ぶと下記ボックス画面が現れます。

- Motion : モーション検出時映像を記憶します。
- Alarm : アラーム検出時映像を記憶します。
- Duration : 録画時間を設定します。

- チャンネル

PCに記憶したいチャンネルを選択します。

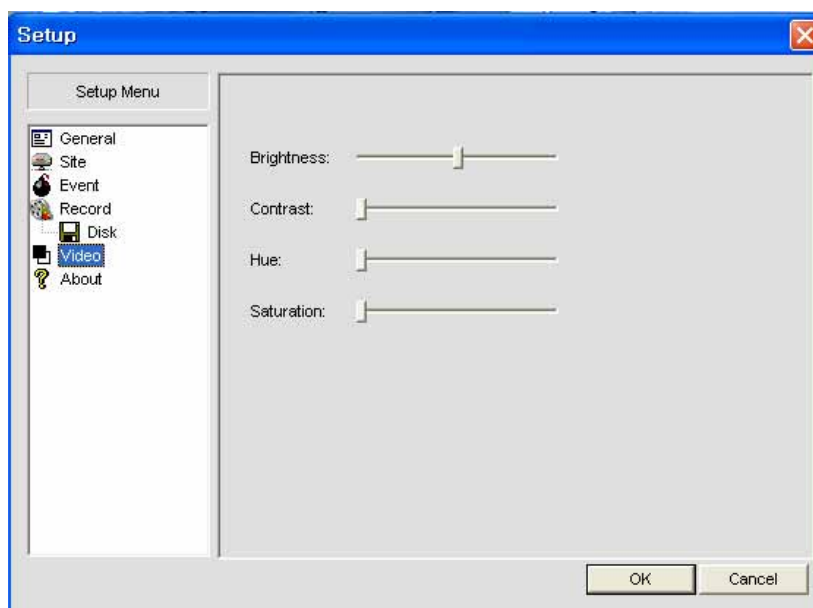
No	Name
<input checked="" type="checkbox"/> 1	Channel 1
<input checked="" type="checkbox"/> 2	Channel 2
<input checked="" type="checkbox"/> 3	Channel 3
<input checked="" type="checkbox"/> 4	Channel 4

-4 DISK

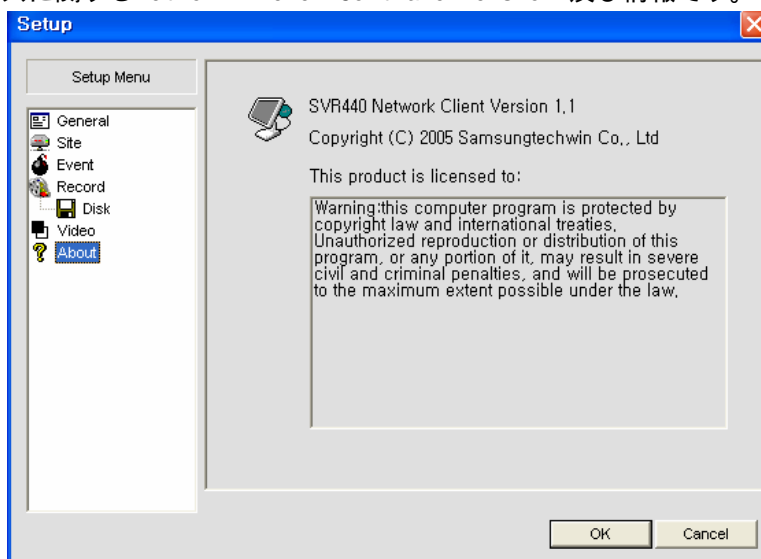
HDD録画容量に関する設定.

- Disk Space :PC 内に画像を記憶する HDD の容量を設定します。(割当領域の確保)
- Disk Full
 - Replace Oldest Files : HDD 録画割当容量のすべてに録画した場合、録画データを上書します。
 - Stop Recording: 録画停止。HDD 録画割当容量のすべてに録画された場合、録画を停止します。


-5 Video(映像) ???-ビューアソフトにこの画面なし - ???
 明るさ、コントラスト、色相及び彩度を設定します。

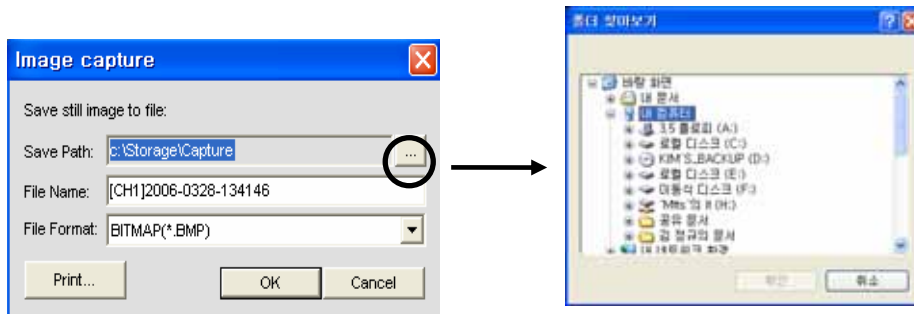


-6 ライセンスについてAbout
 ライセンスに関するNetwork Viewer Software Version 及び情報です。

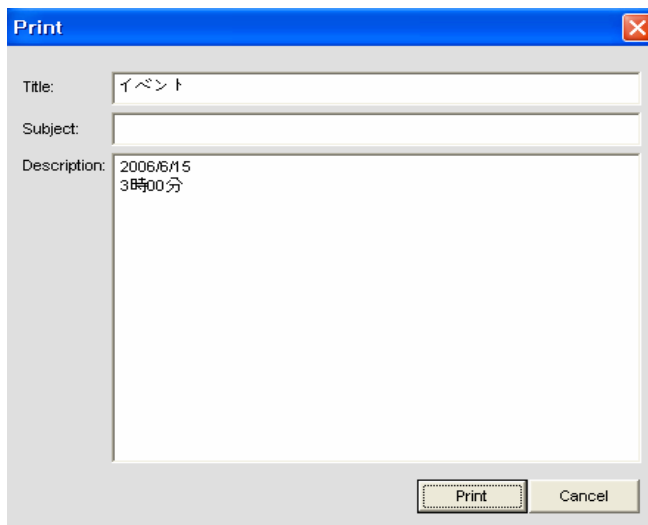



 : ライブモードで静止画キャプチャーボタン

 ボタンを押すと下記画面が現れます。







- Save Path : Save path の右ボタンを押し、希望する保存パス名フォルダを設定します。
- File Name : 記録する映像のファイル名を入力します。
File Format : ファイルの種類を選択します。 (*.BMP *.JPEG)
- Print : 静止画面をプリントすると時、押します。Printボタンを押すと下記のような窓が出来ます。この窓の欄にタイトルなどの簡単なメモが出来ます。メモを記入してPrintボタンを押すと静止画像とメモがプリントになります。




 : 映像録画ボタン


ライブ録画モードで、このボタンを押して、PCに映像を記憶させます。再度押すと録画は中止します。


記録されたデータの再生方法は、下記の通りです。


-  : ボタンを押して、PCへの録画開始。……  マークが大きくなります。
-  : 再度ボタンを押して録画中止。……  マークが元の大きさに戻ります。

-  : ボタンを押して、ネットワーク接続中止。


-

-  : ボタンを押して、再生モード画面へ変更。


-  カレンダーの赤印は、映像が録画されたの日を示します。
再生したい日を選びます。

- 緑色のバーは選ばれた日に録画された映像があることを示します。再生したい時刻にスライドバーを移動します。  ボタンをクリックし、PC に記憶された映像を再生します。

-

-  : Exit : 終了ボタン

このボタンを押して、ビューアソフトウェアを閉じます。

-  : Pause一時停止ボタン

6.4 再生サーチ画面の操作パネル



再生ボタン




: Network Access ボタン

ネットワークの接続ボタンです。ネットワーク アクセスボタン用のライブ画面のControlパネルを参照ください。




: 録画データ サーチボタン

サーチ画面モードで、 ボタンを押すと、ライブ監視モードに切換わります。



: Password 入力ボックス



 ボタンを押すと下記画面が現れます。パスワードを入力し、OKボタンを押しパスワードを保存します。1度パスワードを入力すると、このビューアにアクセス及び操作するたびに正しいパスワードを入力するように要求されます。



: チャンネル選択ボタン

チャンネル選択ボタン用のライブ画面のコントロールパネルを参照ください。



: サーチカレンダー

希望するサーチ日を選ぶと録画されたデータは青色で表示されます。



: HDD 残容量

D V R のHDD残量を表示します。



: 音声 ON/OFF ボタン



: 音量調整



: D V R がアラームを受信すると、赤色に変わります。

再生ボタン



: 1X 再生




: ポーズ




: 逆方向再生、再生速度 : 1X -> 2X -> 4X



: 逆方向にジャンプ。再生中にこのボタンを押すと、再生位置が1分逆に戻り、再生をポーズするとコマサーチになります。


 : 正方向再生、再生速度 : 1X -> 2X -> 4X

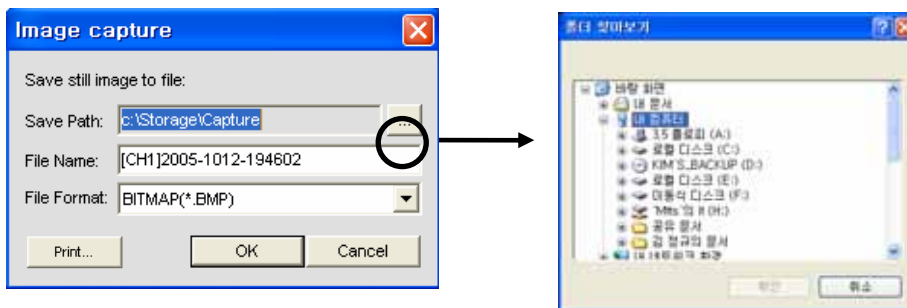
-  : 正方向にジャンプ。再生中にこのボタンを押すと、再生位置が1分進み、再生をポーズするとコマサーチになります。

6.5 その他のサーチボタン





 :サーチモードで静止画キャプチャーボタン

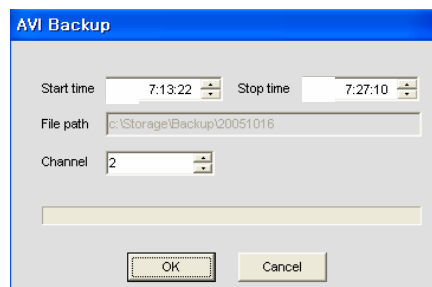
サーチモードで  ボタンを押すと下記画面が現れます。



- Save Path : Save Path の右ボタンを押して希望する 保存パス名 を設定します。
- File Name : 記録する映像のファイル名を入力します。
- File Format : セーブするファイルのフォーマットを選びます。
- Print : プリント機能は静止画像のプリントと同じ機能です。

 : AVI バックアップボタン

 ボタンを押すと、下記画面が現れます。バックアップの時間間隔を設定し、OK ボタンを押して PC にバックアップ AVI ファイルを記憶させます。



AVI ファイルはwindow media playerで表示できます。






Caution


AVI File が Window media playerで再生されない場合、データが記憶されているフォルダ内の SMI Fileを削除するか、他のフォルダへSMI Fileを移動します。(SMI Fileは日、CH等のOSDテキストファイルです。)

 : Mark in

再生中、このボタンを押すと、バックアップの開始時間としてマークされます。

 : Mark out


Mark inボタンを押した後、 ボタンを押すと、バックアップの終了時間としてマークされます。 Mark in 及び Mark out間の時間は紫色で表示されます。1度、Mark in& Mark outを設定した場合、 ボタン、続けてOKボタンを押すとバックアップを開始します。

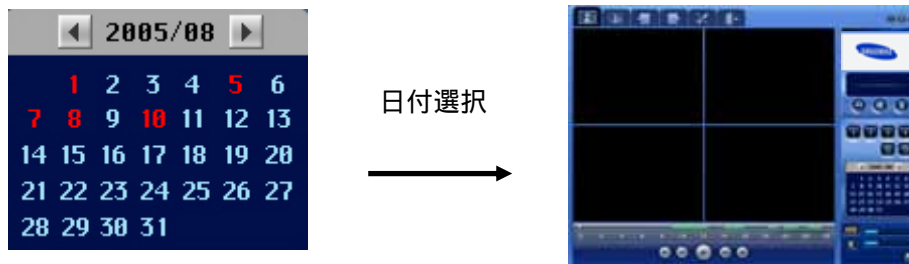
 : 設定ボタン

ライブ画面モードのライブControlボタンと同じ機能です。

 : このボタンを押し、ビューアを閉じます。

6.6 サーチ

赤色の日は、録画データがあることを示します。希望する日時を選び、 ボタンを押して再生します。再生開始後画面下緑バー内で希望の時間帯を選びます。



7章 トラブルシューティング

SVR-440において不良かな?と思われた場合は、下記の項目をご確認ください。

アダプターを接続した後も、電源を投入しないでください。

- * 電源コードが適切に接続されているか確認ください。

電源投入後もモニターに映像が表示されない。

- * 映像出力が BNC あるいは VGAか調べる。
- * カメラとDVR本体の接続が適切か調べる。
- * モニターの輝度(明るさ)調整が適切か調べる。

録画映像に音声録音されていない。

- * メニューの[録画設定]の [音声]が [OFF]でないか調べる。
- * モニターの音量調整を調べる。

リモートコントロールが作動しない。

- * 電池をチェックし、消耗していれば交換する。
- * 装置の受信部にリモートコントローラーに直接向けて操作する。
- * 装置のIDとリモートコントローラーのIDが合致していなければ、両方の機器に同一のIDを設定する。

HDD 録画不能

- * HDDの寿命が尽きて不良あるいはHDD内の部品不良。この場合、HDDを交換する。

スケジュール録画不能

- * スケジュール録画の開始/終了時間及び現在時間が正しく設定されているか調べる。

モニター画面が不鮮明

- * カメラのフォーカスを調べる。

下記問題に関しては販売店にご相談ください。

- 装置を使用中に異常な状態を見つけた場合。(例えば:異常なノイズ、臭いあるいは煙)
- 電源ケーブルが破損した場合。
- 装置を雨や水に濡らした場合。
- 装置に液状の物質をかけたり、異物を入れた場合。
- 装置が本取扱説明書に記載された性能を発揮しない場合。
- 装置を落としたり、著しく損傷した場合。
- 性能に明白な変化が認められた場合。

4CH デジタルビデオレコーダー SVR-440

● 仕様

項目		SVR-440
映像入力		4BNC
映像出力		1BNC, 1VGA(Selectable)
圧縮方式		MPEG4
ライブ表示	速度	120fps
	解像度	720 X 480
	分割パターン	1/4
録画	速度	MAX 120fps
	解像度	720X480, 360X240
	録画モード	一般録画、スケジュール録画、イベント録画
HDD		120GB 1台
バックアップ		USB Memory Stick/外付きCD-R(推薦モデルに限り)
シリアルインタフェース		RS-485/422
アラーム入/出力		4/1
音声入/出力		4/1
ネットワーク	インタフェース	RJ-45(10/100 Base-t)
	プロトコル	TCP/IP, DHCP, PPPoE
	ソフトウェア	Network Viewer 440
リモコン		9台同時支援
OSD		ICON採用、日本語メニュー
温度範囲	動作	5度 ~ 40度
	保管	-10度 ~ 50度
使用電源		12V DCアダプター
消費電力		約 25W
寸法		350(W)x65(H)x260(D)mm
重さ		3.2Kg